

第四次 蒲郡市総合計画策定に関する 市民意識調査

【報告書】

平成22年3月

【目次】

第1章 調査実施概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 主な調査項目	1
(5) 回収状況	1
(6) 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
(1) 回答者の属性	2
(2) 蒲郡市の住みやすさ	10
(3) 蒲郡市の印象	14
(4) 日常生活や地域活動等の実態	18
(5) 行政施策に対する満足度と重要度	21
(6) 蒲郡市の将来像	30
(7) 協働のまちづくりについて	31
(8) 産業振興策	34
(9) 広域連携のあり方	35
参考資料	37
(1) 主な自由意見	37
(2) アンケート調査票	42

第1章 調査実施概要

(1) 調査目的

蒲郡市では、平成13年度にスタートした「第3次蒲郡市総合計画」において「海とみどりに包まれた安心して暮らせるまち 蒲郡」をめざすべき都市像としてまちづくりを進めてきました。目標年次の2010年(平成22年)を迎えるにあたり、本市を取り巻く社会情勢も大きく変化していることから、現在、第四次蒲郡市総合計画の策定に向けて準備を進めています。

そこで、現在の蒲郡市のまちづくりに関わる施策の評価を行うとともに、今後のまちづくりを進めていく上での市民の皆さまのご意見をお伺いすることを目的として、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法

18歳以上の蒲郡市民を無作為抽出で3,000名を抽出し、郵送配布・郵送回収方式によるアンケート調査を実施しました。

(3) 調査期間

平成21年11月11日～11月25日(15日間)

ただし、回収数(回収率)を高めるために、1月初旬までに届いた分を含めて集計しています。

(4) 主な調査項目

- ・住みやすさ、蒲郡市に対する印象
- ・日常生活や地域活動等の参加状況
- ・蒲郡市の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度
- ・これからのまちづくりについて

(5) 回収状況

配布数3,000票に対して、回収数は1,406票、そのうち白紙などの無効票を除いた有効回収数は1,392票で、有効回収率は46.4%となっています。

(6) 調査結果の見方

調査結果については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、図表中の構成比(%)の内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

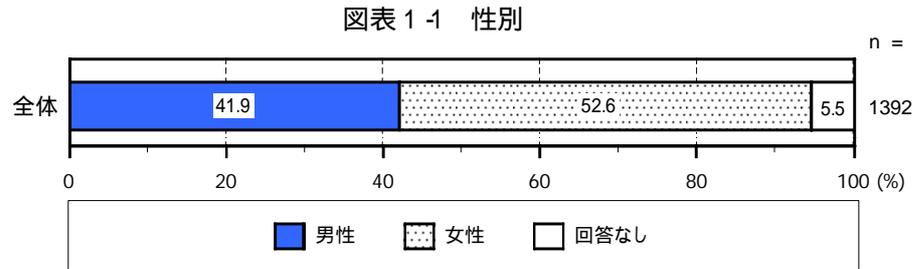
また、クロス集計したグラフ(例:年齢別)については、表側の「不明」は省略している(例:年齢不明)ため、各項目の合計数と全体の数が一致しない場合もあります。

第2章 調査結果

(1) 回答者の属性

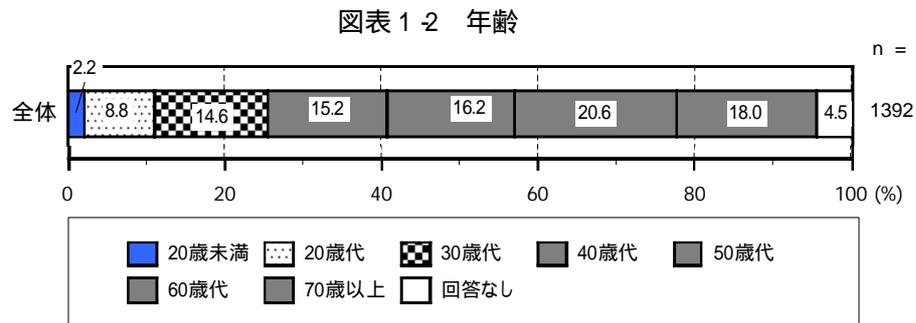
性別

・男性よりも女性が約1割多く52.6%となっています(図表1-1)。



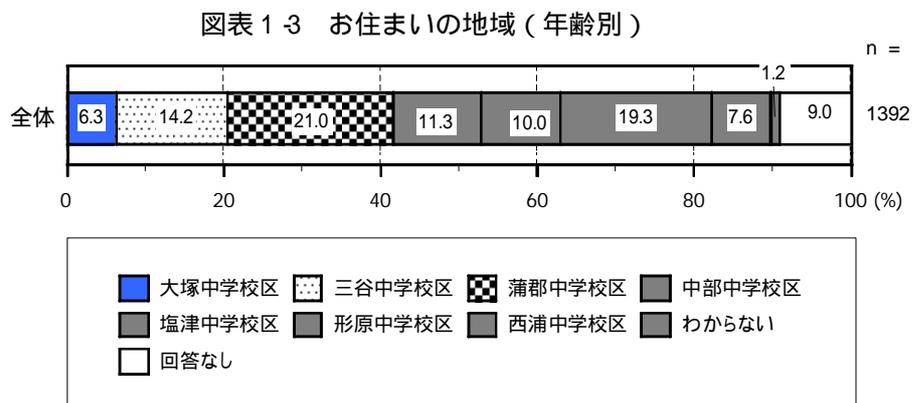
年齢

・「20歳未満」及び「20歳代」を合わせた29歳以下が約1割とやや少ないが、全体的にはバランスの良い年齢構成になっています(図表1-2)。



お住まいの地域(中学校区)

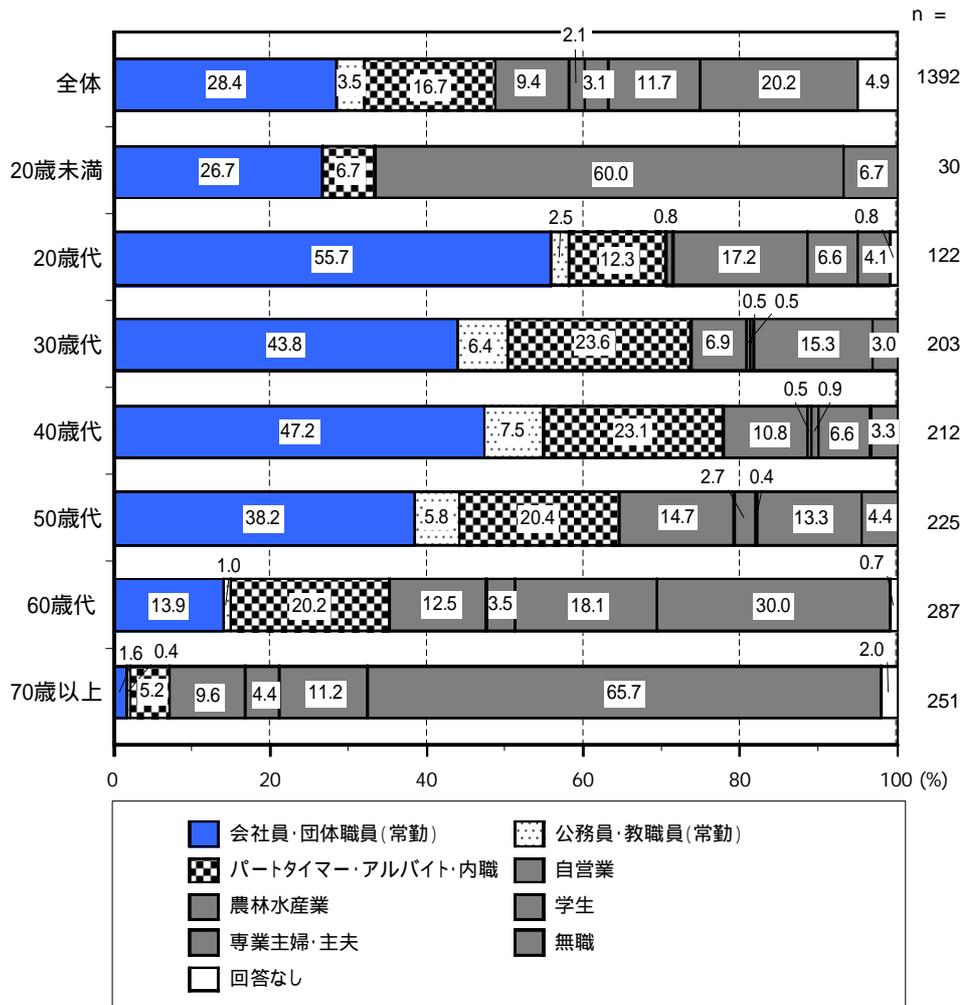
・「蒲郡中学校区」や「形原中学校区」が約2割と多く、一方で「大塚中学校区」や「西浦中学校区」がやや少なくなっています(図表1-3)。



職業

- ・全体では、「会社員・団体職員（常勤）」が28.4%と最も多くなっています。また、「無職」も20.2%みられます。「パート・アルバイト・内職」も16.7%と多くなっています。
- ・年齢別にみると、「20歳代」では「会社員・団体職員（常勤）」が55.7%と最も多く、「60歳代」では「専業主婦・主夫」も18.1%みられます（図表1-4）。

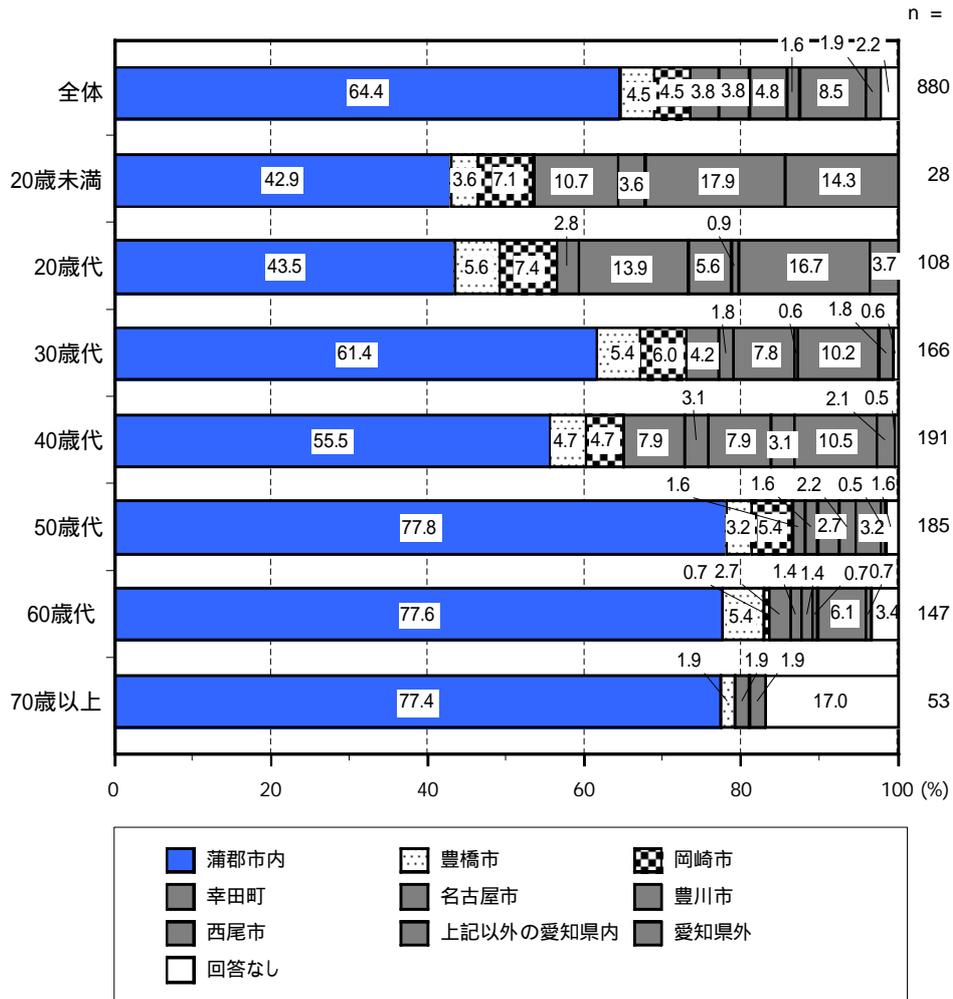
図表1-4 職業（年齢別）



通勤（就業）・通学先

- ・全体では、「蒲郡市内」に通勤・通学している人の割合が64.4%で最も多くなっています。
- ・年齢別にみると、「50歳代」「60歳代」「70歳以上」では「蒲郡市内」が約8割を占めています。一方で、「20歳未満」では「上記以外の愛知県内」が17.9%、「愛知県外」が14.3%あり、周辺市町よりも遠方への通勤・通学が多くみられます。「20歳代」では「名古屋市」が13.9%で、他の年齢層よりも多くみられます。（図表1-5）

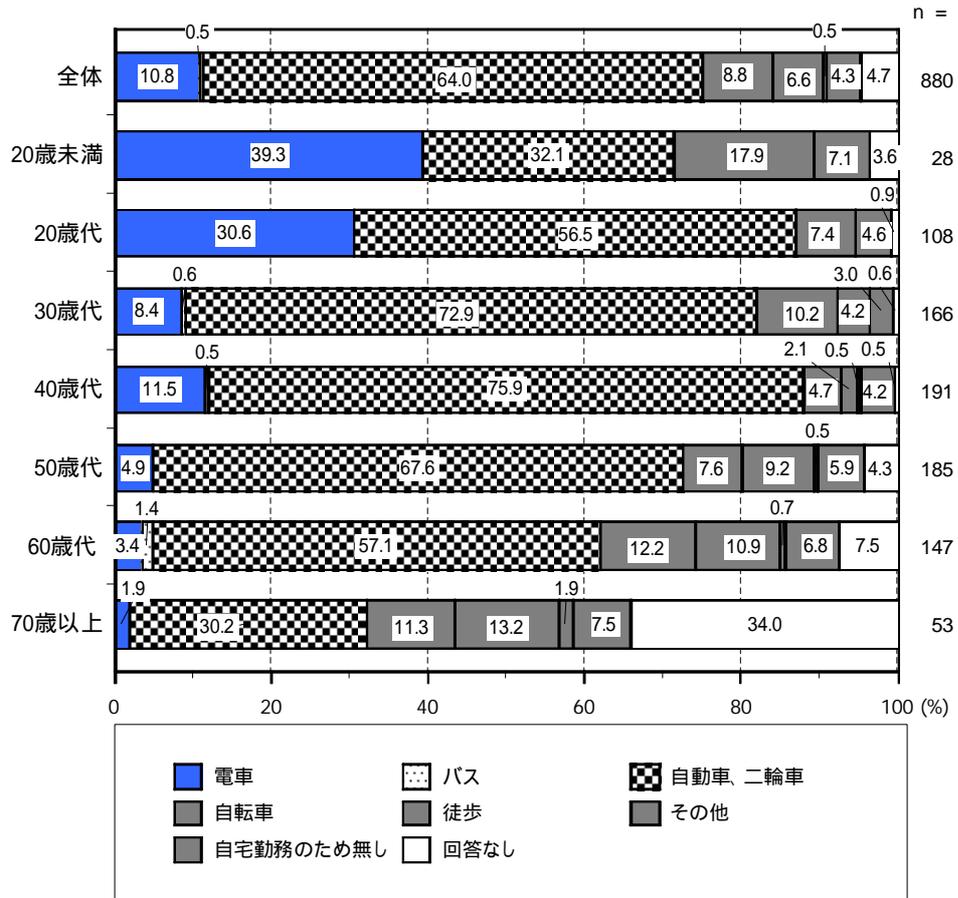
図表1-5 通勤（就業）・通学先（年齢別）



通勤・通学の際の主な交通手段

- ・通勤・通学の際の主な交通手段をみると、全体では「自動車・二輪車」の割合が64.0%で最も多くなっています。「電車」は10.8%、「自転車」は8.8%にとどまっています。
- ・年齢別にみると、「20歳未満」では「電車」が約4割、「30歳代」「40歳代」では「自動車」の割合が7割をこえています。(図表1-6)

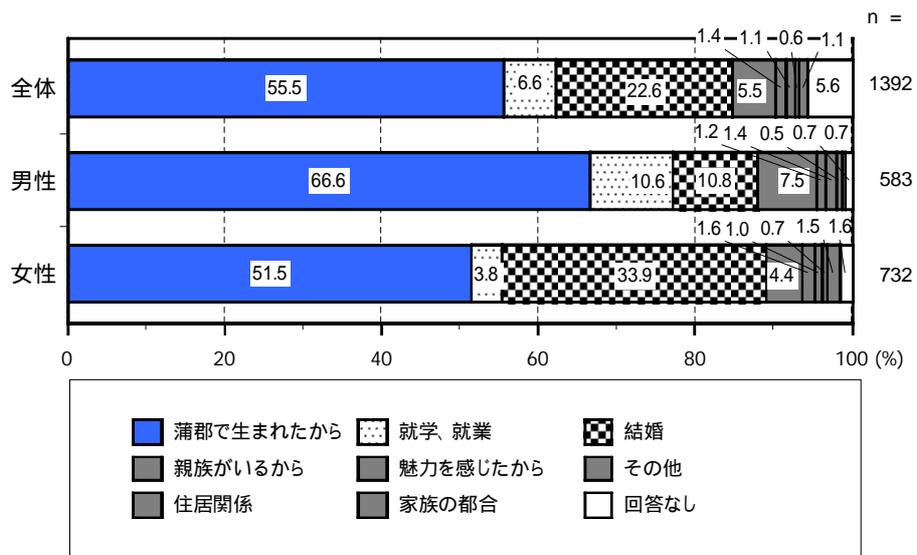
図表1-6 通勤・通学の際の主な交通手段(年齢別)



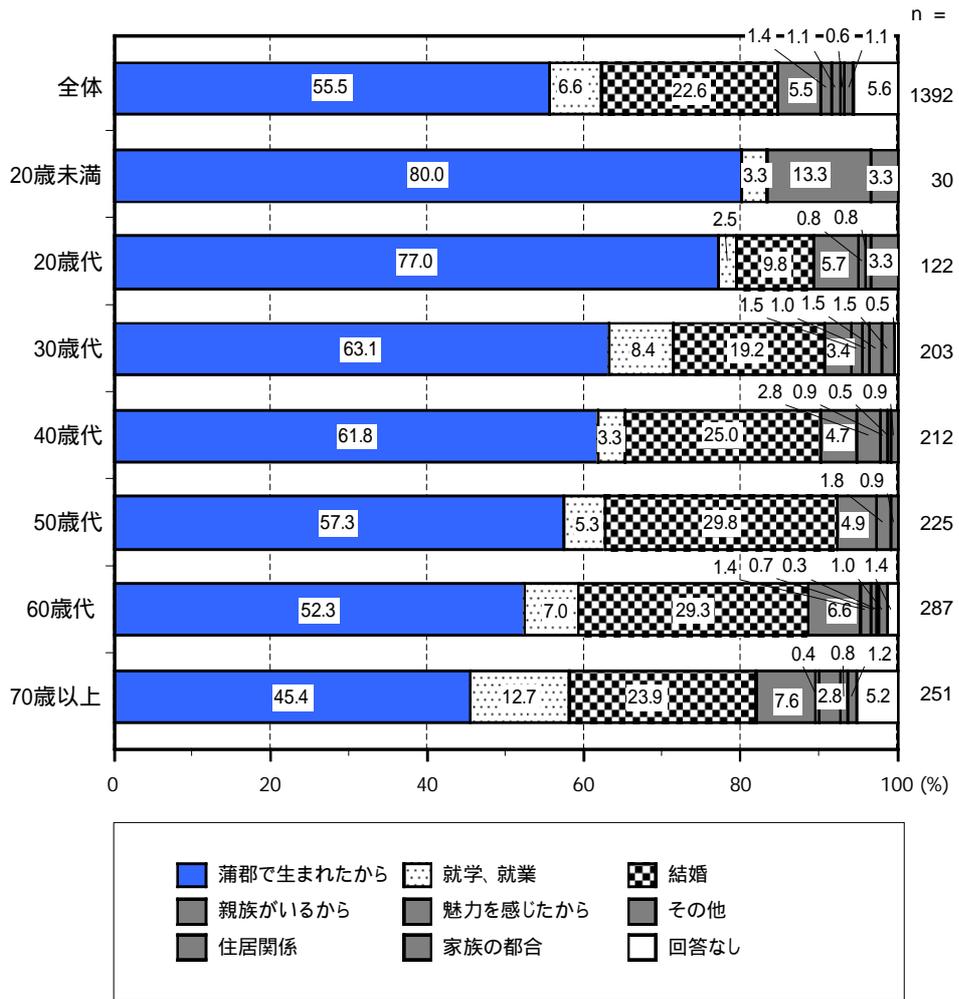
蒲郡市に住むことになったきっかけ

- ・全体では、「蒲郡市で生まれたから」が55.5%と最も多くなっています。
- ・性別にみると、男性では「蒲郡市に生まれたから」が66.6%と多く、女性では「結婚」を機に移り住まれた方が33.9%見られます（図表1-7）。
- ・年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「蒲郡市で生まれたから」の割合が減り、「就学、就業」や「結婚」などが多くなっています（図表1-8）。

図表1-7 蒲郡市に住むことになったきっかけ（性別）



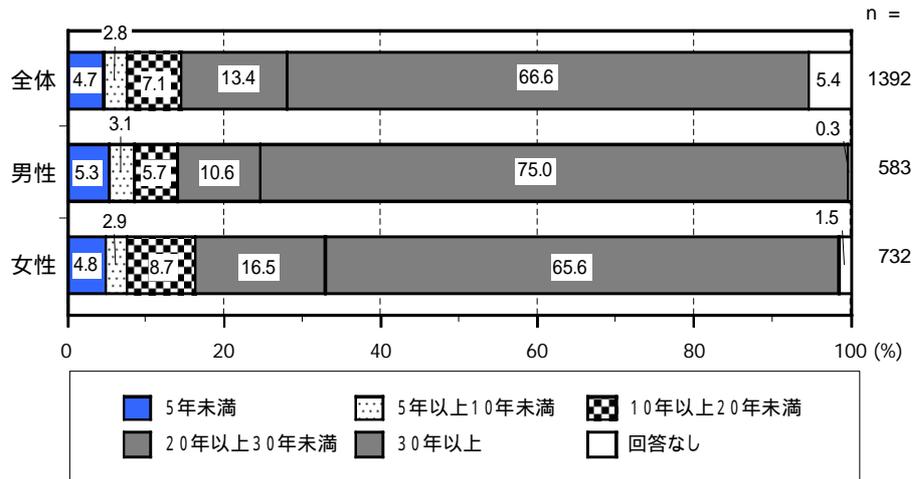
図表 1-8 蒲郡市に住むことになったきっかけ（年齢別）



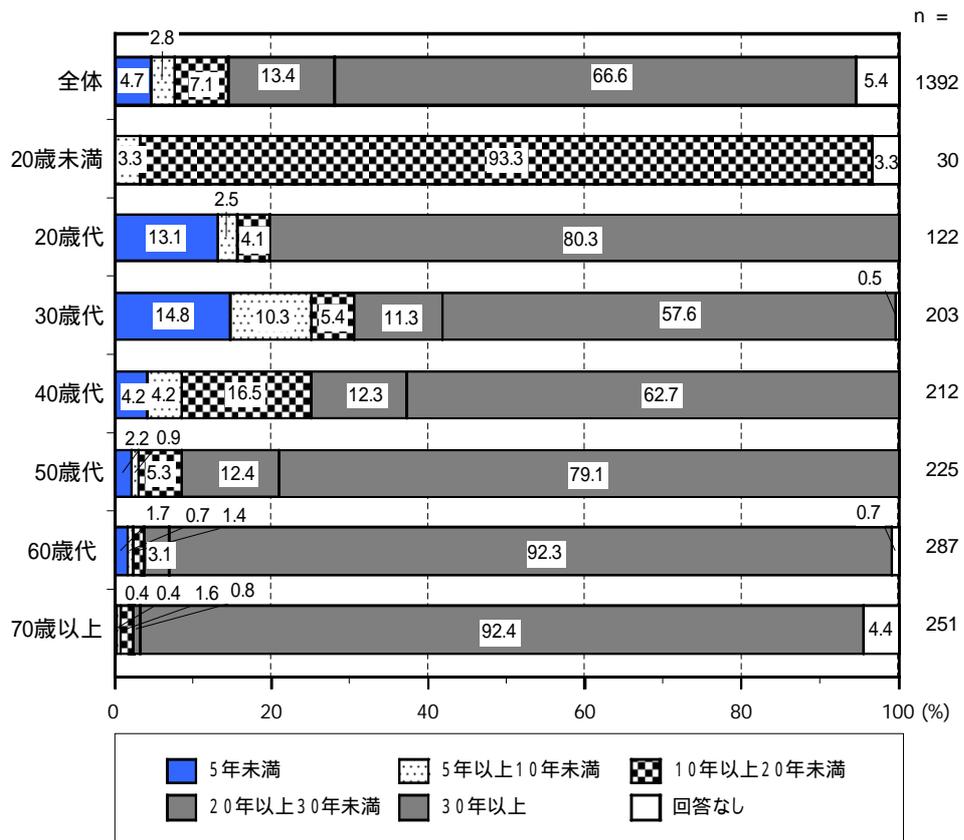
蒲郡市における居住歴

- ・全体では、「30年以上」が66.6%と最も多くなっています。
- ・性別にみると、女性のほうがやや居住歴が短い人の割合が多くなっています（図表1-9）。
- ・年齢別にみると、当然のことながら年齢が高くなるにつれて居住歴も長くなっています。また、「40歳代」では「10年以上20年未満」が16.5%みられます（図表1-10）。

図表1-9 蒲郡市における居住歴（性別）



図表 1-10 蒲都市における居住歴（年齢別）

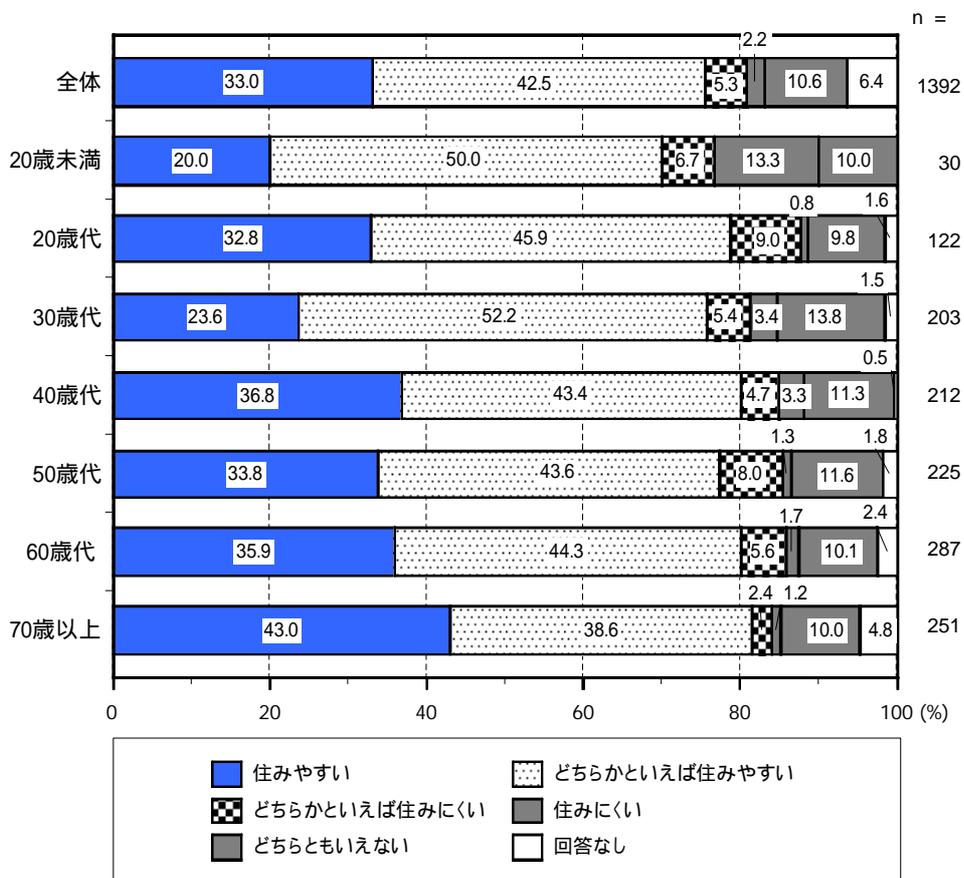


(2) 蒲郡市の住みやすさ

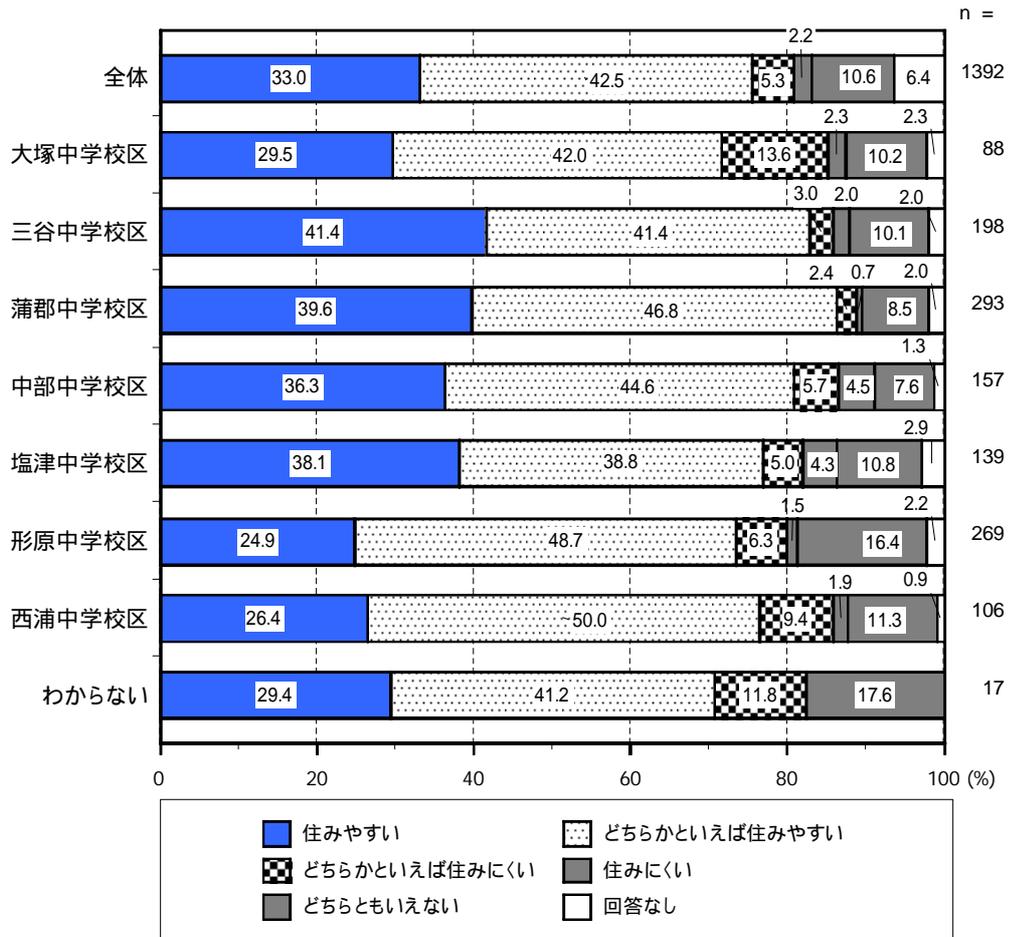
蒲郡市の住みやすさ

- ・全体では、「住みやすい」が 33.0%、「どちらかといえば住みやすい」が 42.5%あり、合わせると約 8割弱の方が住みやすいと評価しています
- ・年齢別にみると、「20歳未満」では住みやすいという評価が他の年齢層よりも低くなっており、「住みにくい」も 13.3%みられます（図表 2-1）。
- ・校区别にみると、「大塚中学校区」や「形原中学校区」などで住みやすいという評価がやや低くなっています（図表 2-2）。

図表 2-1 蒲郡市の住みやすさ（年齢別）



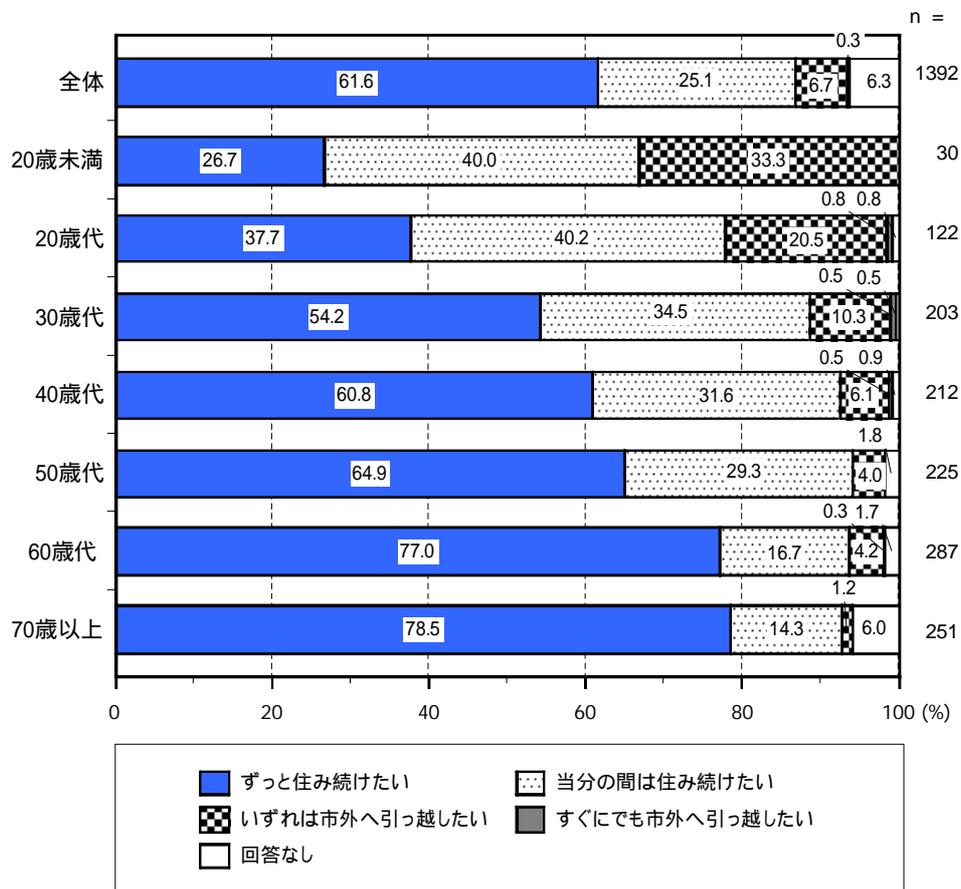
図表 2-2 蒲郡市の住みやすさ（校区別）



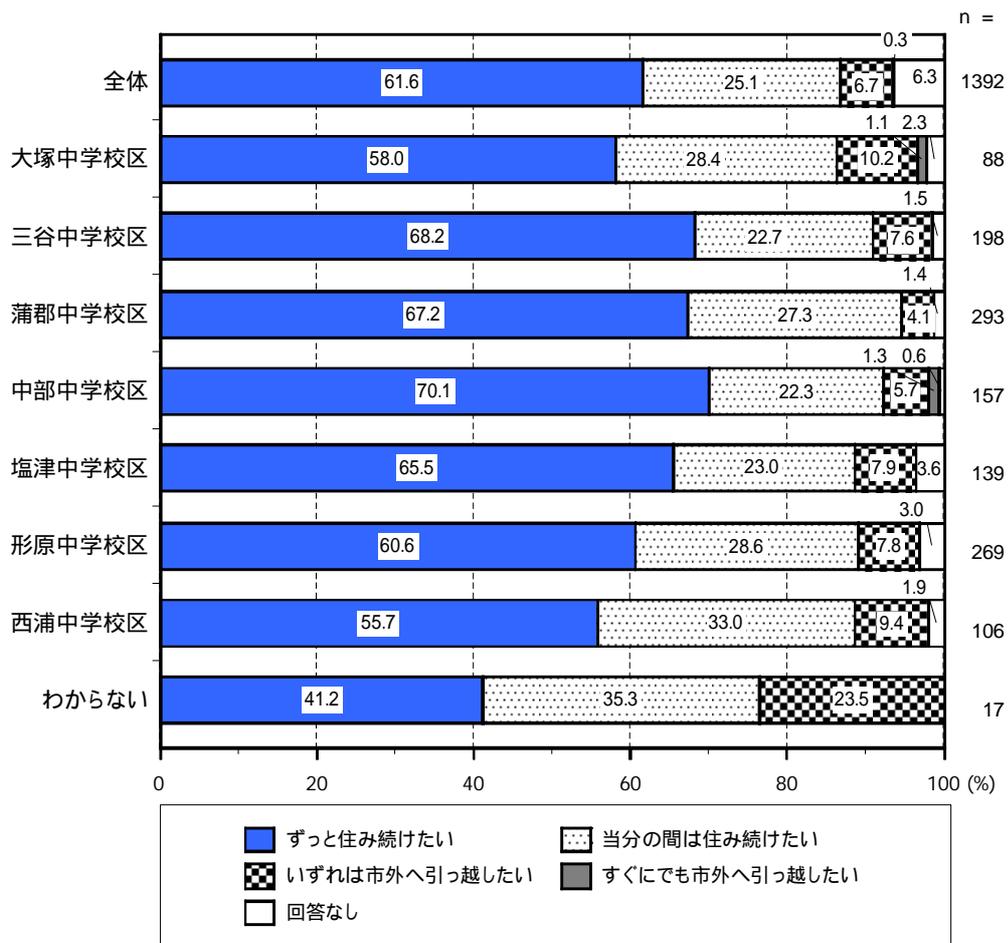
今後の居留意向

- ・全体では、「ずっと住み続けたい」が 61.6%、「当分の間は住み続けたい」が 25.1%となっており、合わせると約 9 割弱の方は今後も住み続ける意向を持っています
- ・年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて住み続ける意向は高くなっています。一方で、「20 歳未満」では「いずれは市外へ引っ越したい」という方も 33.3%と多くなっています（図表 2-3）。
- ・校区別にみると、「西浦中学校区」では「ずっと住み続けたい」の割合が 55.7%で、他の校区よりもやや少なくなっています。一方で、「中部中学校区」では「ずっと住み続けたい」の割合が 70.1%で、他の校区よりもやや多くなっています。（図表 2-4）。

図表 2-3 今後の居留意向（年齢別）



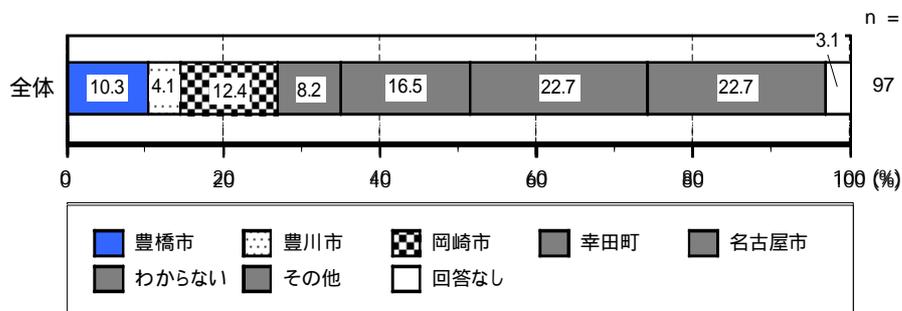
図表 2-4 今後の居住意向（校区別）



転居希望先

・サンプル数は少ないものの、まだ転居先は「わからない」という方が 22.7%と最も多く、次いで「名古屋市」が 16.5%みられます（図表 2-5）。

図表 2-5 転居希望先

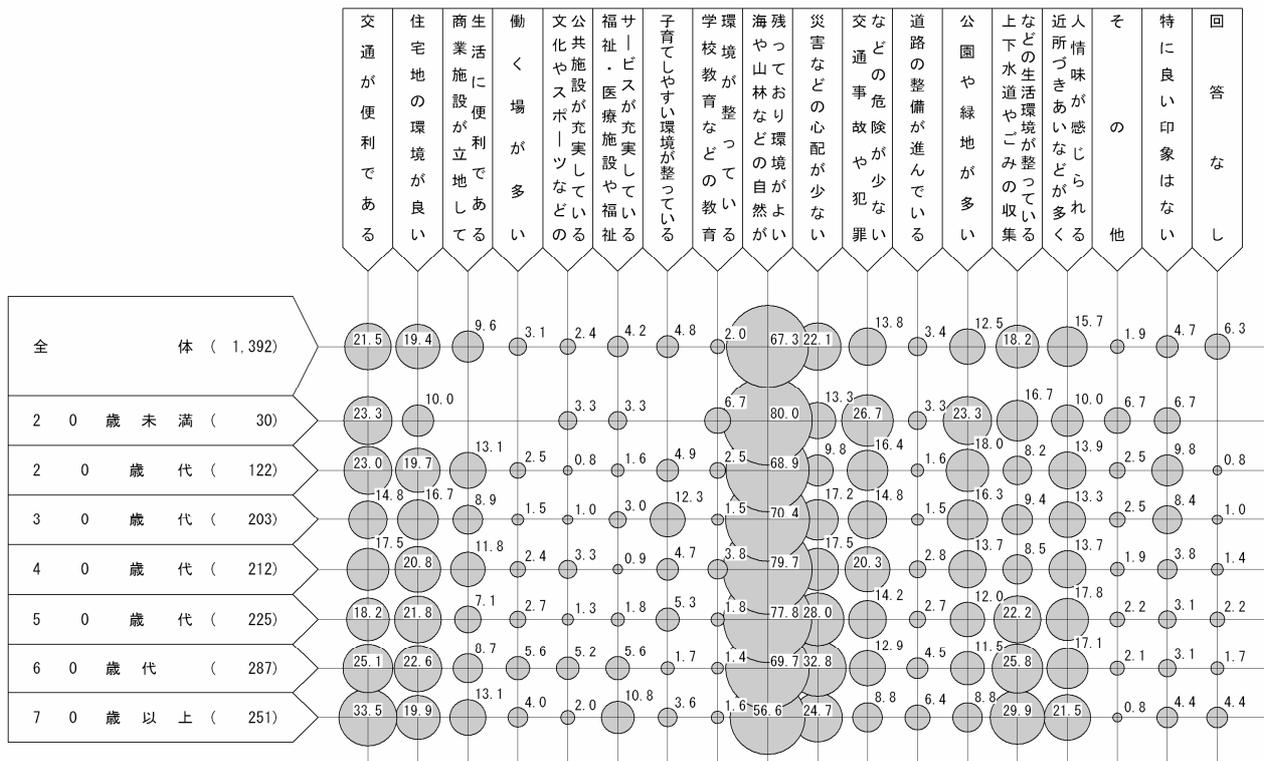


(3) 蒲郡市の印象

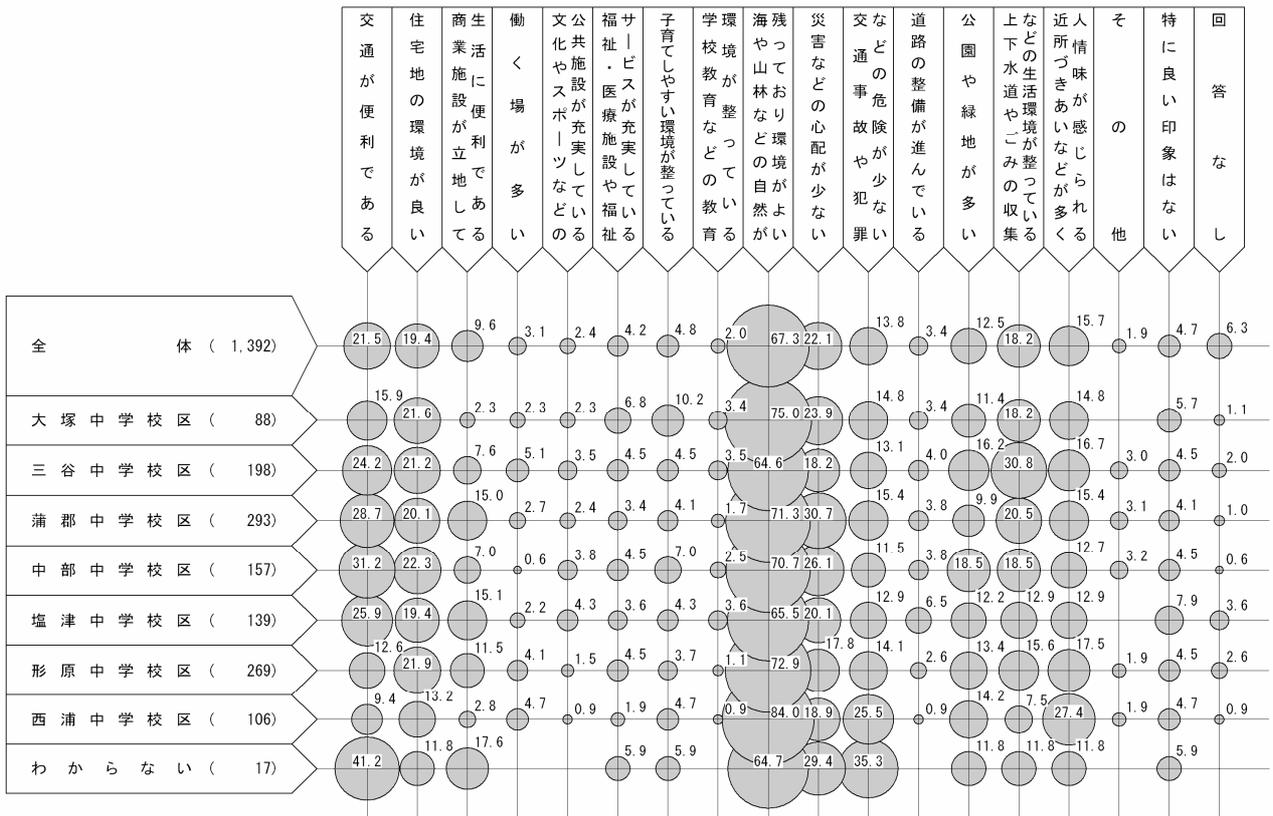
蒲郡市の良い印象

- ・全体では、「海や山林などの自然が残っており環境が良い」が67.3%で最も多くなっています。その他、「災害などの心配が少ない」や「交通が便利である」「住宅地の環境が良い」などが約2割と多くなっています。
- ・年齢別にみると、高齢者層では「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」「近所づきあいなどが多く、人情味が感じられる」などの回答も多くなっています(図表3-1)。
- ・校区別にみると、「西浦中学校区」では「海や山林などの自然が残っており環境が良い」84.0%、「三谷中学校区」では「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」30.8%、「蒲郡中学校区」では「災害などの心配が少ない」30.7%などが、他の校区よりも多くなっています(図表3-2)。

図表3-1 蒲郡市の良い印象(年齢別)



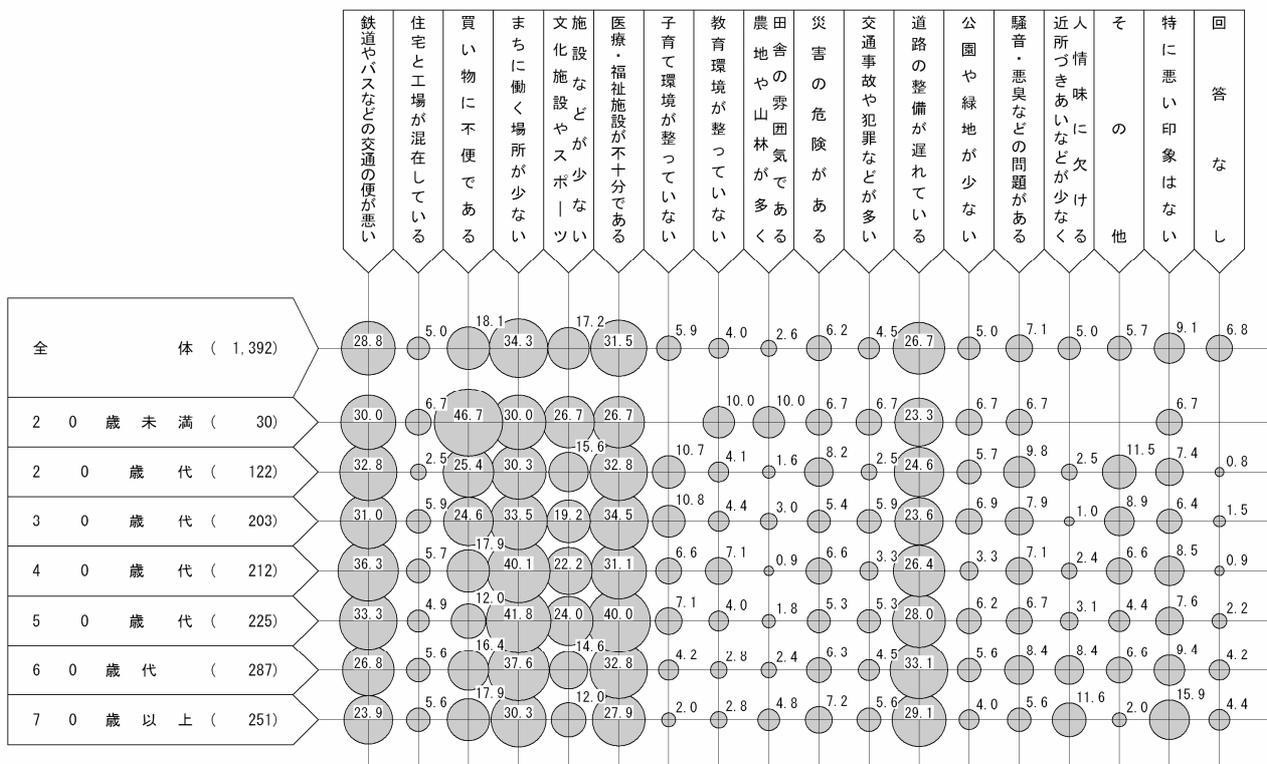
図表 3-2 蒲郡市の良い印象（校区別）



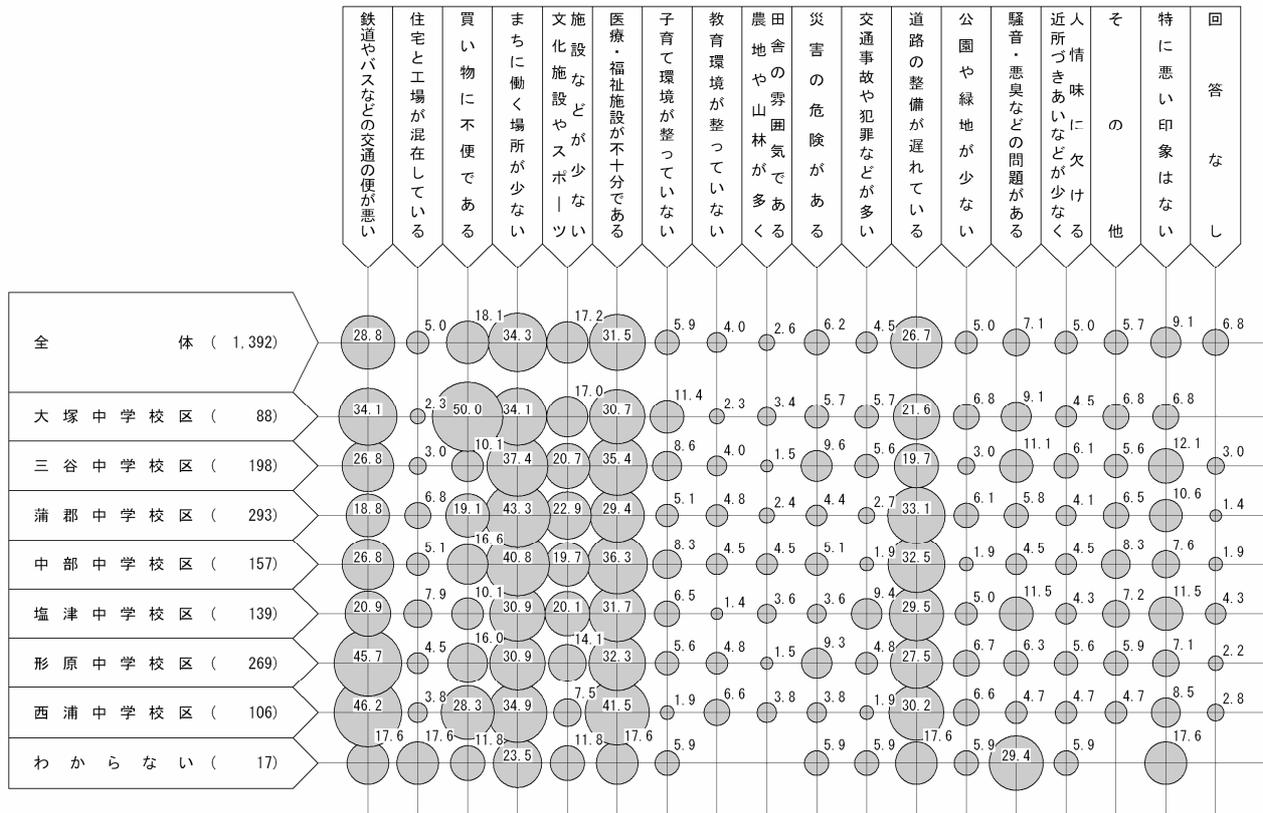
蒲郡市の悪い印象

- ・全体では、「まちに働く場所がない」が34.3%で最も多く、次いで「医療・福祉施設が不十分である」31.5%、「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」28.8%、「道路の整備が遅れている」26.7%などが多くなっています
- ・年齢別にみると、「30歳代」「40歳代」で「まちに働く場所がない」が多くなっています。また、「20歳未満」では「買い物に不便である」も46.7%と多くなっています(図表3-3)。
- ・校区別にみると、「大塚中学校区」では「買い物に不便である」が50.0%と多くなっています。また、「形原中中学校区」や「西浦中学校区」では「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」などが5割弱を占めています(図表3-4)。

図表3-3 蒲郡市の悪い印象(年齢別)



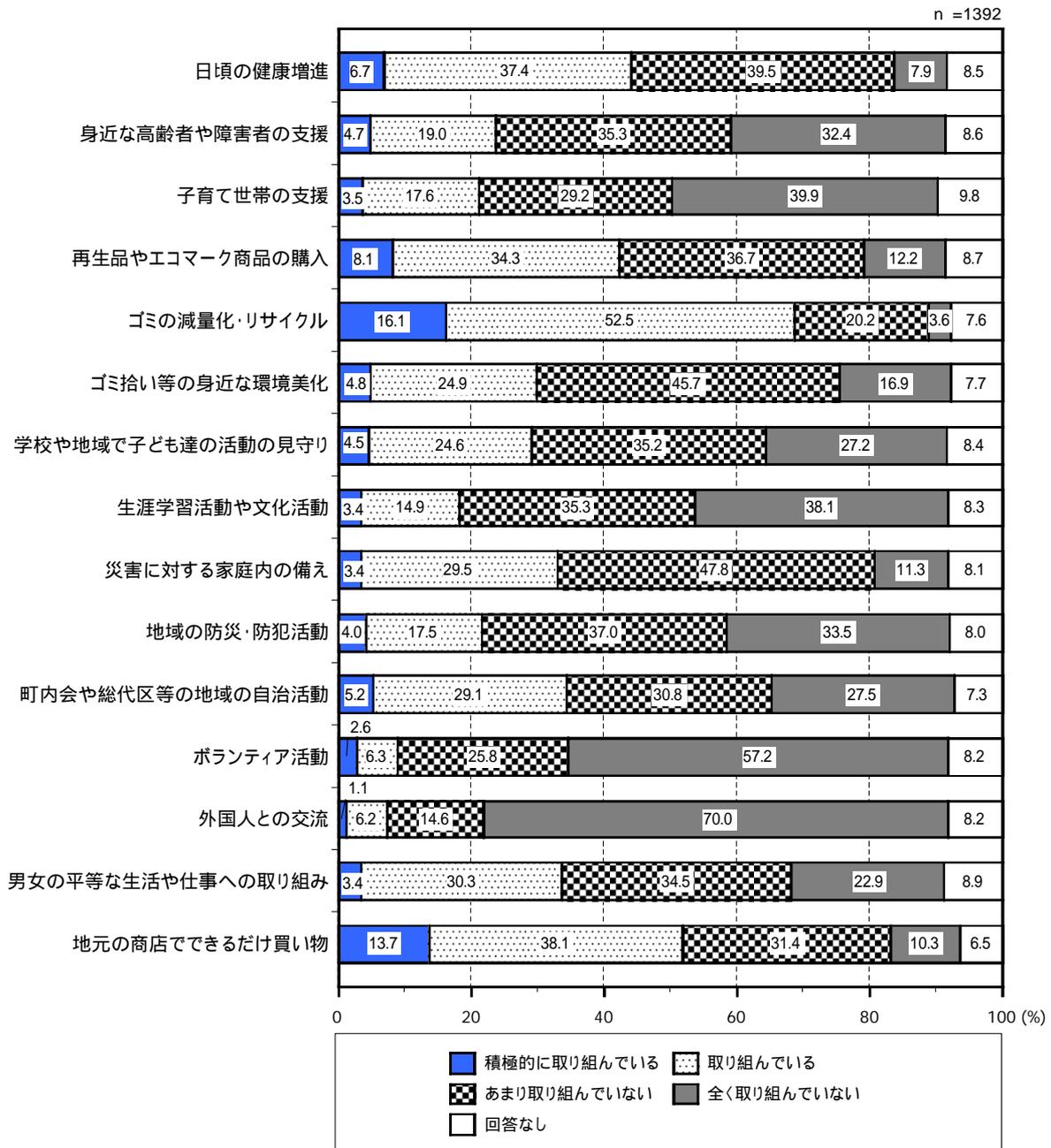
図表 3-4 蒲郡市の悪い印象（校区別）



(4) 日常生活や地域活動等の実態

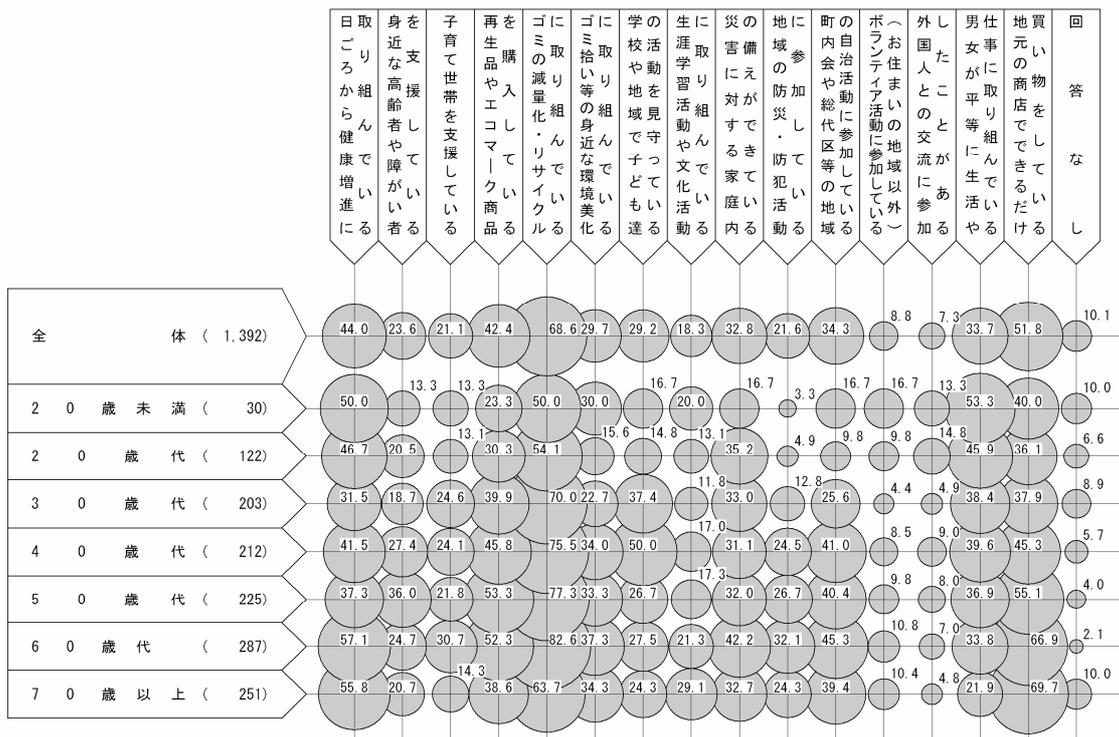
- ・全体では、「ごみの減量化・リサイクル」に取り組んでいる人が最も多く、次いで「地域の商店でできるだけ買い物」「日頃の健康増進」「再生品やエコマーク商品の購入」などに取り組んでいる人の割合も多くなっています。
- ・一方で、「外国人との交流」や「ボランティア活動」、「生涯学習活動や文化活動」、「子育て世帯の支援」などに取り組んでいる人は、まだまだ少ないのが現状です（図表4-1）。

図表4-1 日常生活や地域活動等の実態



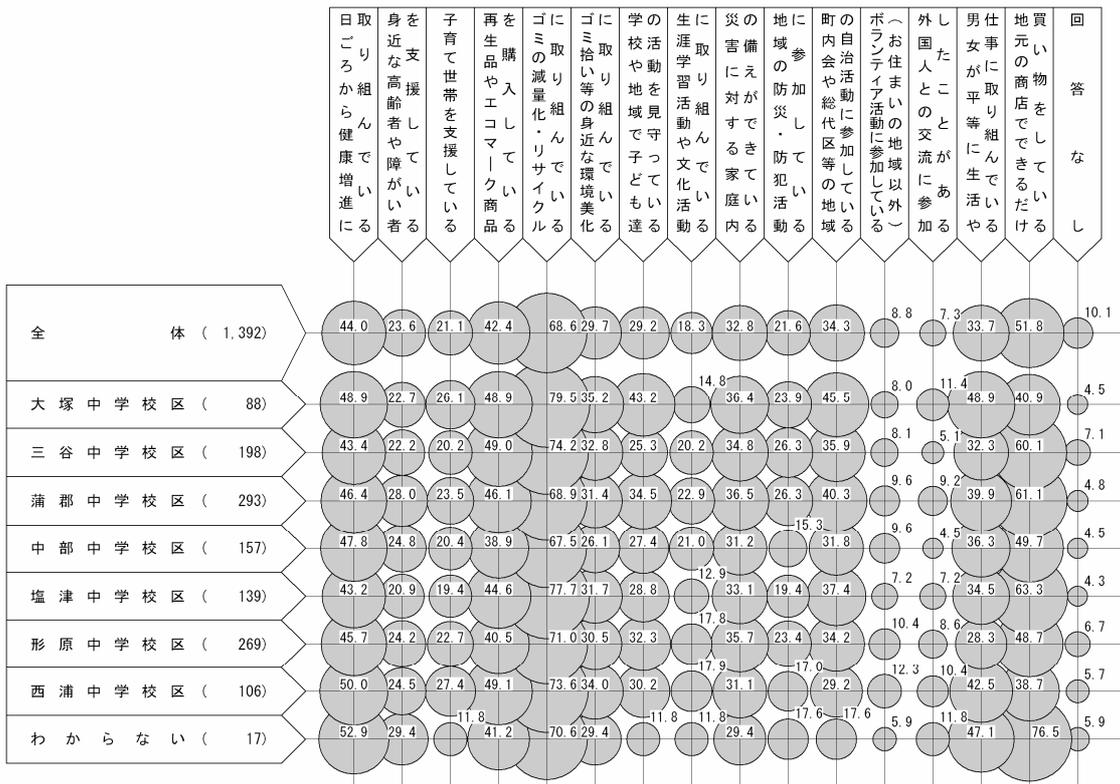
- ・「積極的に取り組んでいる」及び「取り組んでいる」の合わせた値を年齢別及び校区別に分析したものが図表4-2及び図表4-3です。
- ・年齢別にみると、「50歳代」や「60歳代」では「ごみの減量化・リサイクル」や「再生品やエコマーク商品の購入」などの環境に配慮した暮らしをしているひとの割合が多くなっています。また、若い年齢層ほど「男女が平等に生活や仕事に取り組んでいる」の割合が高いものの、「30歳代」より下の年齢層では「町内会や総代区等の地域の自治活動に参加している」の割合が少なくなっています。さらに、年齢層が高くなるほど「地元の商店でできるだけ買い物をしている」の割合が多くなっています（図表4-2）。
- ・校区別にみると、「大塚中学校区」では「学校や地域で子ども達の活動を見守っている」43.2%や「町内会や総代区等の地域の自治活動に参加している」45.5%などの地域活動をはじめとして、全般的に割合が多くなっています。また、「三谷中学校区」や「蒲郡中学校区」では「地元の商店でできるだけ買い物をしている」の割合が多くなっています（図表4-3）。

図表4-2 日常生活や地域活動等の実態（年齢別）



「積極的に取り組んでいる」及び「取り組んでいる」の合計値

図表 4-3 日常生活や地域活動等の実態（校区別）



「積極的に取り組んでいる」及び「取り組んでいる」の合計値

(5) 行政施策に対する満足度と重要度

蒲郡市の施策に関する各項目の満足度及び重要度について、下記の方法により5段階の得点を付け、平均得点を算出しました。この評点を指標として、満足度と重要度の分析を行いました。なお、平均得点は、+2に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に-2に近いほど満足度が低い(不満度が高い) または重要度が低いことを示しています。

【満足度・重要度の平均得点の算出方法】

満足度	重要度	得点(評点)
満足	重要	+2点
やや満足	やや重要	+1点
どちらとも言えない	どちらとも言えない	0点
やや不満	あまり重要でない	-1点
不満	重要でない	-2点

満足度の平均得点

= {「満足」の回答数 × (+2点) + 「やや満足」の回答数 × (+1点) + 「普通」の回答数 × (0点) + 「やや不満」の回答数 × (-1点) + 「不満」の回答数 × (-2点)} ÷ 総回答数

重要度の平均得点

= {「非常に重要」の回答数 × (+2点) + 「重要」の回答数 × (+1点) + 「普通」の回答数 × (0点) + 「あまり重要でない」の回答数 × (-1点) + 「重要でない」の回答数 × (-2点)} ÷ 総回答数

施策に対する満足度

- ・満足度が高いのは、「ごみの減量化、リサイクル活動」「自然環境保護」などの環境にかかわる項目と「市街地整備」「公園・緑地整備」「住宅・宅地環境」といった居住環境にかかわる項目などです（図表 5-1）。
- ・満足度が低いのは、「地域医療体制」をはじめ、「公共交通の利便性」「幹線道路整備」などの交通環境や、「工業振興、企業誘致」「商業・サービス業の振興」という産業にかかわる項目などです（図表 5-2）。

図表 5-1 満足度トップ 10

順位	施策項目	満足度
1	ごみの減量化、リサイクル活動	0.32
2	自然環境保護	0.29
3	市街地整備	0.28
4	消防・救急体制	0.26
5	海とふれあうまちづくり	0.20
6	公園・緑地整備	0.17
7	下水処理対策	0.12
8	住宅・宅地環境	0.11
8	交通安全、防犯対策	0.11
8	競艇の円滑な運営・活性化	0.11

図表 5-2 満足度ワースト 10

順位	施策項目	満足度
1	地域医療体制	-0.34
2	公共交通の利便性	-0.32
3	工業振興、企業誘致	-0.29
4	幹線道路整備	-0.25
4	商業・サービス業振興	-0.25
6	低所得者自立支援	-0.23
7	省エネ対策、自然エネルギー活用	-0.18
8	生活道路整備	-0.18
9	スポーツ施設整備	-0.12
10	周辺市町村との連携について	-0.12

施策に対する重要度の評価

- ・重要度が高いのは、「地域医療体制」をはじめ、「ごみの減量化、リサイクル活動」「公害対策」「自然環境保護」など環境にかかわる項目が目立ちます。「消防・救急体制」や「交通安全、防犯対策」といった安全・安心な生活にかかわる項目の重要度も高くなっています（図表5-3）。
- ・一方、重要度が低い項目は、「国際化、外国人との交流・共生」「男女共同参画推進」「コミュニティ活動支援」「ボランティア育成、市民活動支援」といった地域や市民活動にかかわる項目や、「文化活動、文化の継承」など生涯学習にかかわる項目などとなっています（図表5-4）。

図表5-3 重要度トップ10

順位	施策項目	重要度
1	地域医療体制	1.50
2	ごみの減量化、リサイクル活動	1.39
3	公害対策	1.33
4	自然環境保護	1.31
4	消防・救急体制	1.31
6	省エネ対策、自然エネルギー活用	1.27
7	交通安全、防犯対策	1.26
8	災害に強いまちづくり	1.24
9	高齢者福祉対策	1.19
10	健康づくり、疾病対策	1.13

図表5-4 重要度ワースト10

順位	施策項目	重要度
1	国際化、外国人との交流・共生	0.31
2	男女共同参画推進	0.33
3	コミュニティ活動支援	0.35
4	文化活動、文化の承継	0.53
5	競艇の円滑な運営・活性化	0.55
6	ボランティア育成、市民活動支援	0.56
7	生涯学習活動	0.57
7	スポーツ施設整備	0.57
9	文化施設整備	0.67
10	住宅・宅地環境	0.78

施策に対する満足度と重要度の評価

- ・蒲郡市の施策に対する市民の満足度の平均得点を横軸、重要度の平均得点を縦軸にして散布図を作成しました（図表5-6）。
- ・39項目全体の満足度の平均得点は、-0.02となっています。図に示してある平均得点の線よりも左側にある項目は、平均得点よりも満足度が低い項目（相対的に満足度の低い施策項目）であり、逆に右側にある項目は平均得点よりも満足度が高い項目（相対的に満足度の高い施策項目）です。
- ・一方、39項目全体の重要度の平均得点は、0.92となっています。図に示してある平均得点の線よりも下側にある項目は、平均得点よりも重要度が低い項目（相対的に重要度の低い施策項目）であり、逆に上側にある項目は平均得点よりも重要度が高い項目（相対的に重要度の高い施策項目）です。
- ・着目すべきは、満足度が低く重要度が高い項目、すなわち、当該項目について重要と考えているにもかかわらず、現状において満足していない人が多い施策項目であり、図の左上の領域に該当する項目です（図表5-6の下図）。
- ・この領域に属する項目（満足度が低く重要度が高い）の中でも、「重要度と満足度の差が大きい項目」の内の上位15位を整理したものが図表5-5です。

図表5-5 満足度と重要度の評価（施策の優先度）トップ15

順位	施策項目	優先度 (=重要度-満足度)	満足度	重要度
1	地域医療体制	1.84	-0.34	1.50
2	省エネ対策、自然エネルギー活用	1.45	-0.18	1.27
3	公害対策	1.42	-0.09	1.33
4	公共交通の利便性	1.39	-0.32	1.07
5	幹線道路整備	1.32	-0.25	1.07
5	災害に強いまちづくり	1.32	-0.08	1.24
7	高齢者福祉対策	1.30	-0.11	1.19
8	生活道路整備	1.28	-0.18	1.10
9	工業振興、企業誘致	1.17	-0.29	0.88
10	子育て支援	1.16	-0.06	1.10
11	交通安全、防犯対策	1.15	0.11	1.26
12	障がい者福祉対策	1.13	-0.08	1.05
13	地域での支え合い、福祉活動	1.12	-0.07	1.05
14	商業・サービス業振興	1.10	-0.25	0.85
15	ごみの減量化、リサイクル活動	1.07	0.32	1.39
15	健康づくり、疾病対策	1.07	0.06	1.13

【優先度の高い施策項目】

- ・全体では、「地域医療体制」や「高齢者福祉対策」「子育て支援」など、医療や福祉にかかわる項目、「省エネ対策、自然エネルギー活用」「公害対策」など、環境にかかわる項目、「公共交通の利便性」「幹線道路整備」など交通環境にかかわる項目などが、優先度が高くなっている。
- ・一方で、「住宅・宅地の環境」「公園・緑地の整備」「駅前などの市街地の整備」といった住環境の整備や、「文化活動や文化の承継」「生涯学習活動」などの市民の文化・生涯学習活動、「ボランティア育成や市民活動支援」「コミュニティ活動の支援」などの市民参加によるまちづくり、「国際化、外国人との交流・共生」「男女共同参画の推進」などについては、いずれも優先度が低くなっている（図表5-5、図表5-6）。

【校區別】

- ・校區別にみると、いずれの校区でも「地域医療体制」は最優先施策として挙げられていることがわかる。
- ・「中部中学校区」では、「子育てに対する支援」が3番目、「高齢者への福祉対策」が4番目に挙げられており、生活弱者への地域福祉の充実が求められていることがわかる。
- ・「塩津中学校区」では、「生活道路の整備」が2番目、「交通安全・防犯対策」が4番目に挙げられており、交通環境の改善が課題となっていることが伺える。
- ・「蒲郡中学校区」では「商業やサービス業の振興」が6番目、「塩津中学校区」及び「西浦中学校区」では、いずれも「下水処理対策」が6番目に挙げられており、各学区ごとの生活課題を反映した優先順位が示されているといえる（図表5-7）。

図表 5-7 小学校区別 施策の優先度の順位

施策項目	全体及び校区別の点数・順位		大塚中学校区		三谷中学校区		蒲郡中学校区		中部中学校区		塩津中学校区		形原中学校区		西浦中学校区	
	全体	順位	点数	順位												
地域医療体制	1.84	1	1.97	1	1.96	1	1.82	1	1.87	1	1.80	1	1.79	1	2.02	1
省エネ対策や自然エネルギー活用	1.45	2	1.34	5	1.48	3	1.51	2	1.36	2	1.49	3	1.44	3	1.53	3
騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	1.42	3	1.55	3	1.53	2	1.39	3	1.24	5	1.48	4	1.42	4	1.46	5
公共交通の利便性	1.39	4	1.58	2	1.39	5	1.09	15	0.96	18	1.34	9	1.79	1	1.96	2
幹線道路の整備	1.32	5	1.35	4	1.26	7	1.37	4	1.21	6	1.38	8	1.29	7	1.42	7
災害に強いまちづくり	1.32	5	1.27	7	1.44	4	1.27	7	1.15	9	1.45	7	1.32	5	1.33	8
高齢者への福祉対策	1.30	7	1.20	9	1.33	6	1.30	5	1.27	4	1.32	10	1.29	8	1.31	9
生活道路の整備	1.28	8	1.17	10	1.16	9	1.22	9	1.12	11	1.54	2	1.32	5	1.48	4
工業の振興や企業誘致	1.17	9	1.21	8	1.09	14	1.24	8	1.17	7	1.24	13	1.14	10	1.20	13
子育てに対する支援	1.16	10	1.29	6	1.07	17	1.15	12	1.30	3	1.14	18	1.09	13	1.24	12
交通安全・防犯対策	1.15	11	1.09	12	1.13	12	1.05	16	1.02	15	1.48	4	1.24	9	1.06	19
障がい者への福祉対策	1.13	12	1.12	11	1.15	10	1.15	11	1.11	12	1.32	10	1.10	12	1.01	22
地域での支え合い・福祉活動	1.12	13	0.90	20	1.23	8	1.16	10	1.17	7	1.12	19	0.98	20	1.26	10
商業やサービス業の振興	1.10	14	1.06	15	1.01	19	1.29	6	1.00	17	1.21	14	1.01	19	1.08	17
ごみの減量化、リサイクル活動	1.07	15	0.92	19	1.15	11	1.10	14	1.09	13	0.96	22	1.03	18	1.26	10
健康づくり・疾病対策	1.07	15	0.98	17	1.12	13	1.01	18	1.05	14	1.21	14	1.06	17	1.02	21
消防・救急体制	1.05	17	1.08	14	1.01	19	1.04	17	0.96	19	1.18	16	1.07	15	1.11	16
海や山などの自然環境の保護	1.02	18	0.89	21	1.09	14	0.90	24	1.02	15	1.17	17	1.08	14	1.15	14
低所得者の自立支援	1.02	18	1.03	16	1.08	16	0.92	22	1.15	9	1.28	12	0.82	25	1.08	17
観光の振興	1.00	20	0.94	18	1.06	18	1.15	12	0.94	21	0.93	23	0.96	22	0.79	26
小中学校の教育内容や環境	0.99	21	1.09	12	0.95	22	0.97	19	0.88	22	1.07	21	1.07	15	1.04	20
農業や水産業の振興	0.95	22	0.83	23	0.99	21	0.96	21	0.84	23	1.08	20	0.97	21	0.94	24
周辺市町村との連携について	0.91	23	0.89	21	0.95	22	0.97	20	0.95	20	0.78	30	0.85	24	0.97	23
下水処理対策	0.90	24	0.18	39	0.67	28	0.62	32	0.70	26	1.47	6	1.13	11	1.44	6
市政の情報提供や市民の声の広聴	0.89	25	0.67	27	0.91	25	0.92	22	0.79	24	0.90	25	0.90	23	1.12	15
海とふれあうまちづくり	0.80	26	0.67	28	0.92	24	0.81	26	0.75	25	0.90	24	0.74	28	0.73	27
景観・まちなみへの配慮	0.72	27	0.52	30	0.69	27	0.83	25	0.59	28	0.74	31	0.70	30	0.69	29
図書館、ホールなどの施設の整備	0.70	28	0.68	26	0.78	26	0.72	27	0.50	31	0.81	29	0.82	25	0.47	33
スポーツ施設の整備	0.69	29	0.71	25	0.61	29	0.64	31	0.61	27	0.88	27	0.77	27	0.63	30
住宅・宅地の環境	0.67	30	0.64	29	0.60	30	0.68	29	0.55	29	0.86	28	0.54	33	0.88	25
公園・緑地の整備	0.66	31	0.82	24	0.49	35	0.65	30	0.48	33	0.90	25	0.71	29	0.72	28
駅前などの市街地の整備	0.58	32	0.37	33	0.59	31	0.71	28	0.53	30	0.42	38	0.57	31	0.62	31
ボランティア育成や市民活動支援	0.54	33	0.40	31	0.57	32	0.60	33	0.34	36	0.60	33	0.56	32	0.60	32
文化活動や文化の承継	0.48	34	0.19	38	0.48	36	0.54	34	0.38	34	0.62	32	0.52	35	0.40	36
生涯学習活動	0.47	35	0.40	32	0.52	33	0.42	36	0.36	35	0.57	34	0.54	34	0.43	35
競艇の円滑な運営や活性化	0.44	36	0.27	35	0.51	34	0.43	35	0.50	31	0.39	39	0.39	36	0.46	34
国際化、外国人との交流・共生	0.36	37	0.33	34	0.30	39	0.33	38	0.28	37	0.51	35	0.37	37	0.39	37
コミュニティ活動の支援	0.34	38	0.23	36	0.34	37	0.34	37	0.26	38	0.47	37	0.31	38	0.37	38
男女共同参画の推進	0.31	39	0.22	37	0.31	38	0.31	39	0.22	39	0.50	36	0.30	39	0.23	39

優先度 = 重要度 満足度

濃い網掛けは、優先順位が 1 ~ 10 位の施策、薄い網掛けは、優先順位が 11 ~ 15 位の施策

図表 5-8 (参考) 満足度の集計結果

項目	選択項目	不満		やや不満		どちらとも言えない		やや満足		満足		回答なし	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 自然・環境について													
1	海や山などの自然環境の保護	53	3.8	158	11.4	525	37.7	454	32.6	91	6.5	111	8
2	海とふれあいまちづくり	53	3.8	160	11.5	606	43.5	374	26.9	70	5	129	9.3
3	ごみの減量化、リサイクル活動	32	2.3	148	10.6	550	39.5	467	33.5	76	5.5	119	8.5
4	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	91	6.5	260	18.7	635	45.6	247	17.7	40	2.9	119	8.5
5	省エネ対策や自然エネルギー活用	77	5.5	233	16.7	814	58.5	126	9.1	14	1	128	9.2
2. 基盤整備・交通について													
6	駅前などの市街地の整備	76	5.5	225	16.2	369	26.5	475	34.1	131	9.4	116	8.3
7	景観・まちなみへの配慮	63	4.5	214	15.4	601	43.2	333	23.9	54	3.9	127	9.1
8	幹線道路の整備	167	12	323	23.2	474	34.1	265	19	40	2.9	123	8.8
9	生活道路の整備	139	10	321	23.1	481	34.6	281	20.2	46	3.3	124	8.9
10	公園・緑地の整備	54	3.9	213	15.3	541	38.9	397	28.5	67	4.8	120	8.6
11	公共交通の利便性	194	13.9	354	25.4	447	32.1	237	17	45	3.2	115	8.3
12	住宅・宅地の環境	50	3.6	190	13.6	650	46.7	332	23.9	49	3.5	121	8.7
13	下水処理対策	133	9.6	162	11.6	545	39.2	312	22.4	132	9.5	108	7.8
3. 安全・安心について													
14	健康づくり・疾病対策	45	3.2	176	12.6	752	54	276	19.8	34	2.4	109	7.8
15	地域医療体制	180	12.9	347	24.9	524	37.6	205	14.7	30	2.2	106	7.6
16	地域での支え合い・福祉活動	58	4.2	191	13.7	843	60.6	175	12.6	20	1.4	105	7.5
17	子育てに対する支援	65	4.7	166	11.9	808	58	194	13.9	16	1.1	143	10.3
18	高齢者への福祉対策	68	4.9	239	17.2	739	53.1	202	14.5	15	1.1	129	9.3
19	障がい者への福祉対策	53	3.8	177	12.7	857	61.6	150	10.8	16	1.1	139	10
20	低所得者の自立支援	89	6.4	192	13.8	898	64.5	65	4.7	9	0.6	139	10
21	災害に強いまちづくり	63	4.5	175	12.6	820	58.9	179	12.9	11	0.8	144	10.3
22	消防・救急体制	34	2.4	113	8.1	660	47.4	403	29	52	3.7	130	9.3
23	交通安全・防犯対策	43	3.1	156	11.2	709	50.9	318	22.8	31	2.2	135	9.7
4. 教育・文化について													
24	小中学校の教育内容や環境	43	3.1	135	9.7	783	56.3	243	17.5	24	1.7	164	11.8
25	生涯学習活動	24	1.7	91	6.5	883	63.4	210	15.1	24	1.7	160	11.5
26	図書館、ホールなどの施設の整備	96	6.9	222	15.9	600	43.1	281	20.2	45	3.2	148	10.6
27	文化活動や文化の承継	28	2	126	9.1	854	61.4	206	14.8	18	1.3	160	11.5
28	スポーツ施設の整備	68	4.9	217	15.6	760	54.6	176	12.6	17	1.2	154	11.1
29	国際化、外国人との交流・共生	32	2.3	90	6.5	1019	73.2	86	6.2	6	0.4	159	11.4
5. 産業について													
30	農業や水産業の振興	53	3.8	200	14.4	799	57.4	175	12.6	15	1.1	150	10.8
31	工業の振興や企業誘致	95	6.8	273	19.6	784	56.3	78	5.6	13	0.9	149	10.7
32	商業やサービス業の振興	77	5.5	265	19	793	57	92	6.6	10	0.7	155	11.1
33	観光の振興	74	5.3	238	17.1	707	50.8	207	14.9	19	1.4	147	10.6
34	競艇の円滑な運営や活性化	44	3.2	93	6.7	820	58.9	253	18.2	33	2.4	149	10.7
6. その他													
35	男女共同参画の推進	16	1.1	63	4.5	1042	74.9	94	6.8	11	0.8	166	11.9
36	コミュニティ活動の支援	15	1.1	61	4.4	1051	75.5	84	6	7	0.5	174	12.5
37	ボランティア育成や市民活動支援	15	1.1	99	7.1	974	70	132	9.5	9	0.6	163	11.7
38	市政の情報提供や市民の声の広聴	47	3.4	199	14.3	808	58	171	12.3	11	0.8	156	11.2
39	周辺市町村との連携について	40	2.9	172	12.4	928	66.7	94	6.8	6	0.4	152	10.9

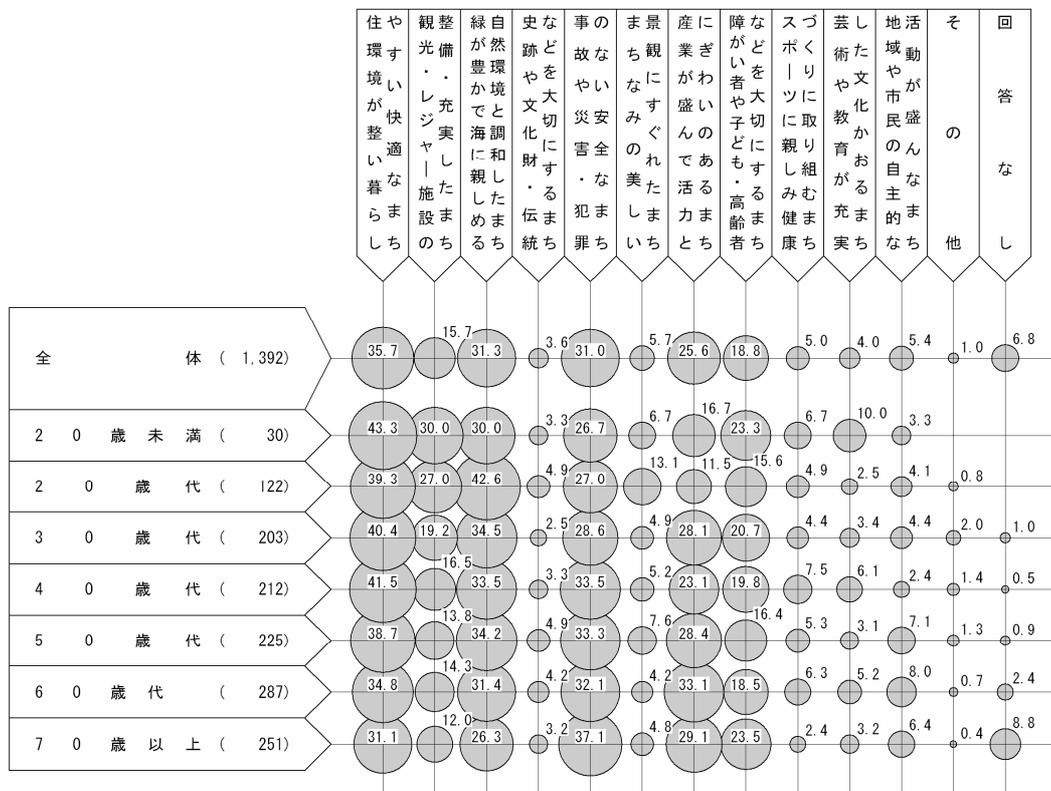
図表 5-9 (参考) 重要度の集計結果

項目	選択項目	重要でない		より重要でない		どちらとも言えない		やや重要		重要		回答なし	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 自然・環境について													
1	海や山などの自然環境の保護	0	0.0	24	1.7	175	12.6	431	31	612	44	150	10.8
2	海とふれあうまちづくり	7	0.5	50	3.6	310	22.3	429	30.8	431	31	165	11.9
3	ごみの減量化、リサイクル活動	3	0.2	18	1.3	161	11.6	371	26.7	686	49.3	153	11
4	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	2	0.1	14	1	188	13.5	399	28.7	634	45.5	155	11.1
5	省エネ対策や自然エネルギー活用	5	0.4	24	1.7	197	14.2	411	29.5	595	42.7	160	11.5
2. 基盤整備・交通について													
6	駅前などの市街地の整備	32	2.3	72	5.2	289	20.8	486	34.9	356	25.6	157	11.3
7	景観・まちなみへの配慮	21	1.5	68	4.9	351	25.2	489	35.1	305	21.9	158	11.4
8	幹線道路の整備	26	1.9	33	2.4	252	18.1	439	31.5	483	34.7	159	11.4
9	生活道路の整備	23	1.7	38	2.7	223	16	460	33	485	34.8	163	11.7
10	公園・緑地の整備	14	1	62	4.5	351	25.2	492	35.3	306	22	167	12
11	公共交通の利便性	12	0.9	33	2.4	263	18.9	471	33.8	455	32.7	158	11.4
12	住宅・宅地の環境	14	1	36	2.6	455	32.7	418	30	302	21.7	167	12
13	下水処理対策	12	0.9	27	1.9	344	24.7	392	28.2	461	33.1	156	11.2
3. 安全・安心について													
14	健康づくり・疾病対策	6	0.4	11	0.8	305	21.9	405	29.1	505	36.3	160	11.5
15	地域医療体制	4	0.3	2	0.1	149	10.7	304	21.8	788	56.6	145	10.4
16	地域での支え合い・福祉活動	8	0.6	22	1.6	345	24.8	398	28.6	475	34.1	144	10.3
17	子育てに対する支援	7	0.5	24	1.7	324	23.3	352	25.3	514	36.9	171	12.3
18	高齢者への福祉対策	9	0.6	20	1.4	235	16.9	430	30.9	538	38.6	160	11.5
19	障がい者への福祉対策	9	0.6	20	1.4	320	23	417	30	453	32.5	173	12.4
20	低所得者の自立支援	27	1.9	34	2.4	442	31.8	379	27.2	338	24.3	172	12.4
21	災害に強いまちづくり	2	0.1	12	0.9	250	18	389	27.9	582	41.8	157	11.3
22	消防・救急体制	2	0.1	14	1	212	15.2	382	27.4	626	45	156	11.2
23	交通安全・防犯対策	2	0.1	13	0.9	218	15.7	422	30.3	572	41.1	165	11.9
4. 教育・文化について													
24	小中学校の教育内容や環境	4	0.3	11	0.8	375	26.9	339	24.4	470	33.8	193	13.9
25	生涯学習活動	10	0.7	65	4.7	550	39.5	378	27.2	199	14.3	190	13.6
26	図書館、ホールなどの施設の整備	17	1.2	72	5.2	455	32.7	415	29.8	251	18	182	13.1
27	文化活動や文化の承継	22	1.6	51	3.7	572	41.1	382	27.4	178	12.8	187	13.4
28	スポーツ施設の整備	22	1.6	54	3.9	545	39.2	387	27.8	200	14.4	184	13.2
29	国際化、外国人との交流・共生	37	2.7	89	6.4	680	48.9	273	19.6	131	9.4	182	13.1
5. 産業について													
30	農業や水産業の振興	15	1.1	31	2.2	396	28.4	431	31	344	24.7	175	12.6
31	工業の振興や企業誘致	17	1.2	40	2.9	393	28.2	377	27.1	382	27.4	183	13.1
32	商業やサービス業の振興	14	1	25	1.8	409	29.4	442	31.8	319	22.9	183	13.1
33	観光の振興	18	1.3	51	3.7	339	24.4	447	32.1	359	25.8	178	12.8
34	競艇の円滑な運営や活性化	62	4.5	85	6.1	466	33.5	337	24.2	268	19.3	174	12.5
6. その他													
35	男女共同参画の推進	28	2	72	5.2	707	50.8	242	17.4	142	10.2	201	14.4
36	コミュニティ活動の支援	22	1.6	60	4.3	704	50.6	271	19.5	125	9	210	15.1
37	ボランティア育成や市民活動支援	15	1.1	37	2.7	584	42	380	27.3	179	12.9	197	14.2
38	市政の情報提供や市民の声の広聴	11	0.8	24	1.7	456	32.8	405	29.1	306	22	190	13.6
39	周辺市町村との連携について	10	0.7	23	1.7	488	35.1	377	27.1	310	22.3	184	13.2

(6) 蒲郡市の将来像

- ・「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」が 35.7%、「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」「事故や災害、犯罪のない安全なまち」が 30%強、「産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち」が 4分の1強である。安心して暮らすことができる環境や自然が将来像として抱かれている。
- ・年齢別にみると、「20 歳未満」から「40 歳代」という若い年齢層で、「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」が概ね 4 割を超えて高い割合である。「20 歳代」では「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」が 4 割を超え、「60 歳代」で「産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち」を 3分の1程度の回答者があげている。(図表 6-1)

図表 6-1 蒲郡市の将来像 (年齢別)

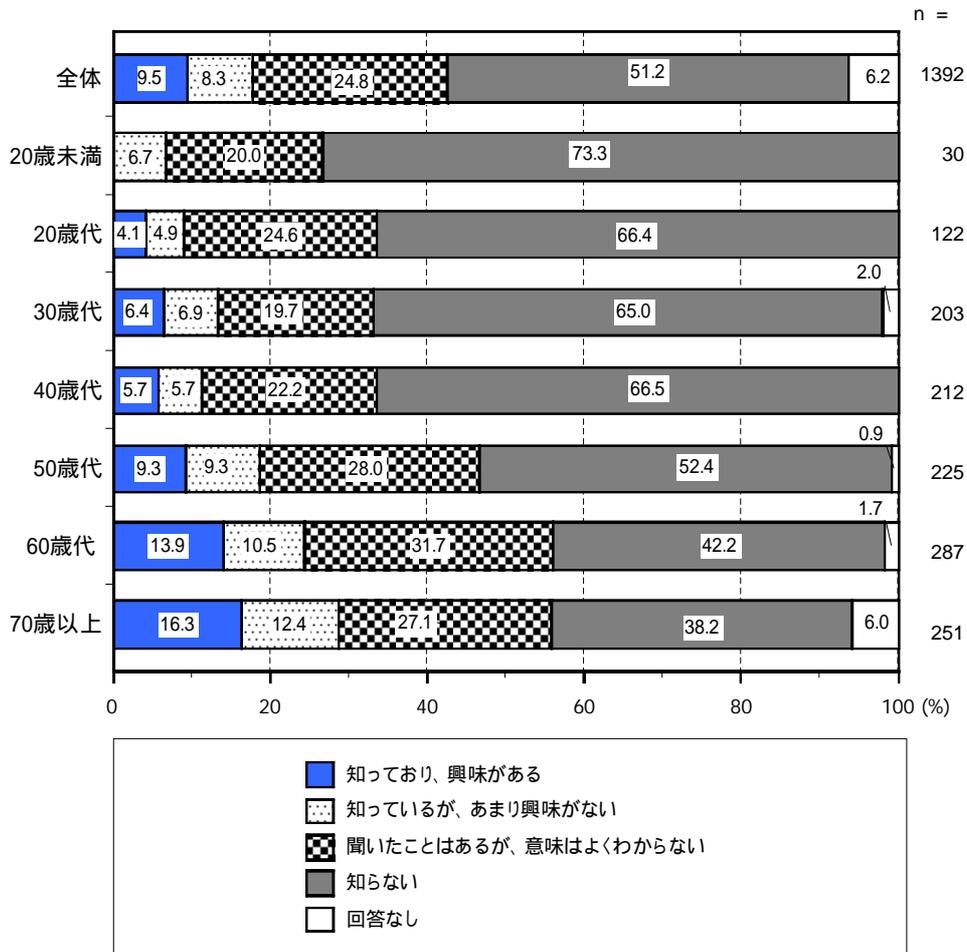


(7) 協働のまちづくりについて

「協働」という言葉の認知度

- ・全体では、「知らない」が半数を超えており、「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が4分の1、知っているが約18%であり、認知度が低くなっています。
- ・年齢別では、「50歳代」から高年齢層にかけて「知っており興味がある」の割合が高くなり、「60歳代」で「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が3割を超えています（図表7-1）。

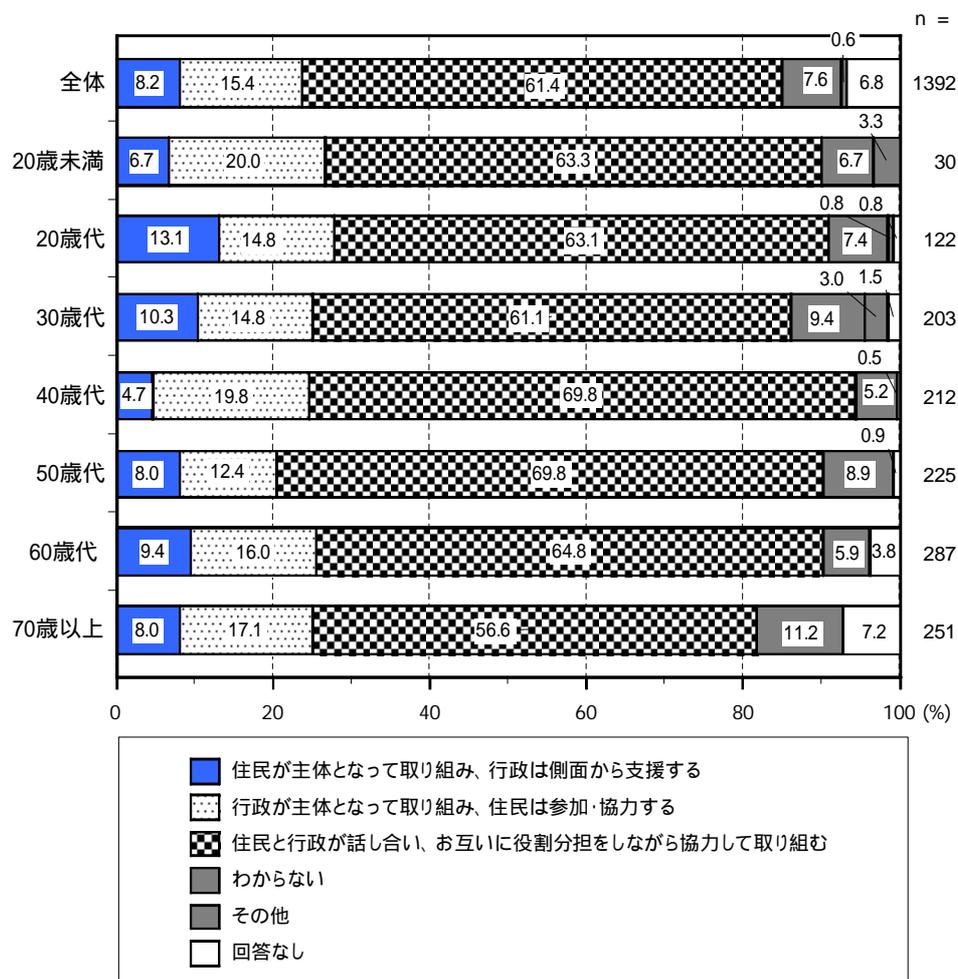
図表7-1 「協働」の認知度（年齢別）



住民と行政の役割分担の考え方

- ・全体では、「住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む」が6割強を占めている。「住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する」が8.2%、「行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する」が15.4%です。
- ・年齢別にみると、「40歳代」と「50歳代」で「住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む」が約7割と特に高くなっています。また、20歳代で「住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する」が13.1%とほかの年齢層よりも高い割合です（図表7-2）。

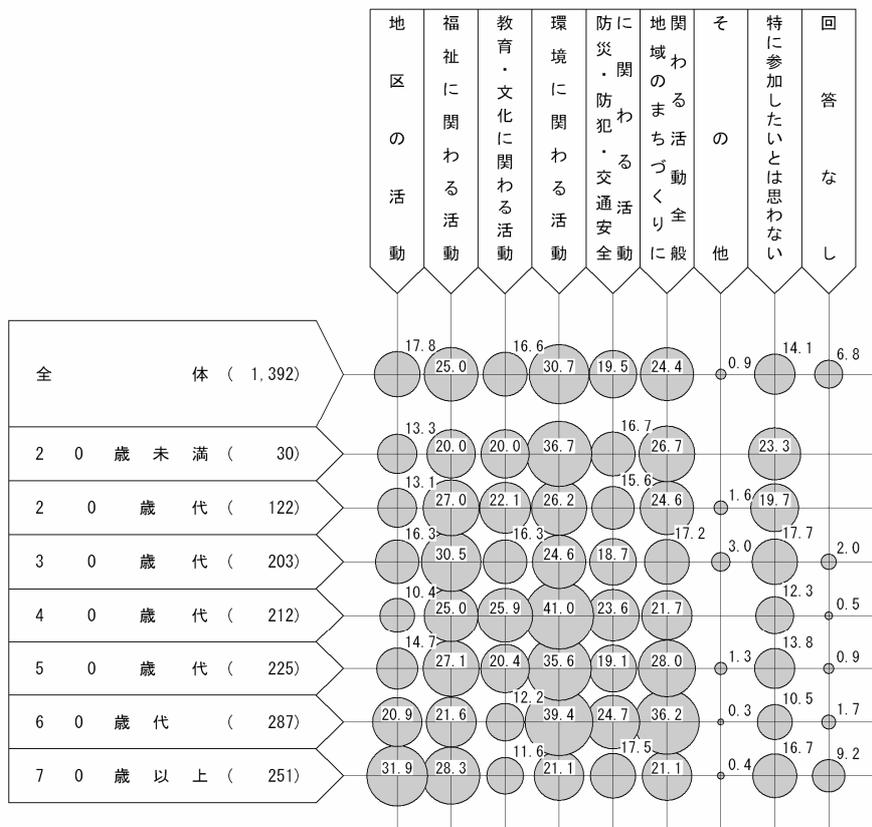
図表7-2 住民と行政の役割分担の考え方（年齢別）



地域自治活動への参加意向

- ・全体では、「環境に関わる活動」が 30.7%、「福祉に関わる活動」「地域のまちづくりに関わる活動全般」が 25%程度と多くなっています。
- ・年齢別にみると、「20 歳未満」と 40 歳代から 60 歳代で、「環境に関わる活動」の割合が高くなっています。また、「30 歳代」では「福祉に関わる活動」、「40 歳代」では「教育・文化に関わる活動」、「60 歳代」では「地域のまちづくりに関わる活動全般」、「70 歳以上」では「地区の活動」の割合がほかの年齢層よりも高く、年齢に応じて参加を考える活動の種類が異なります（図表 7-3）。

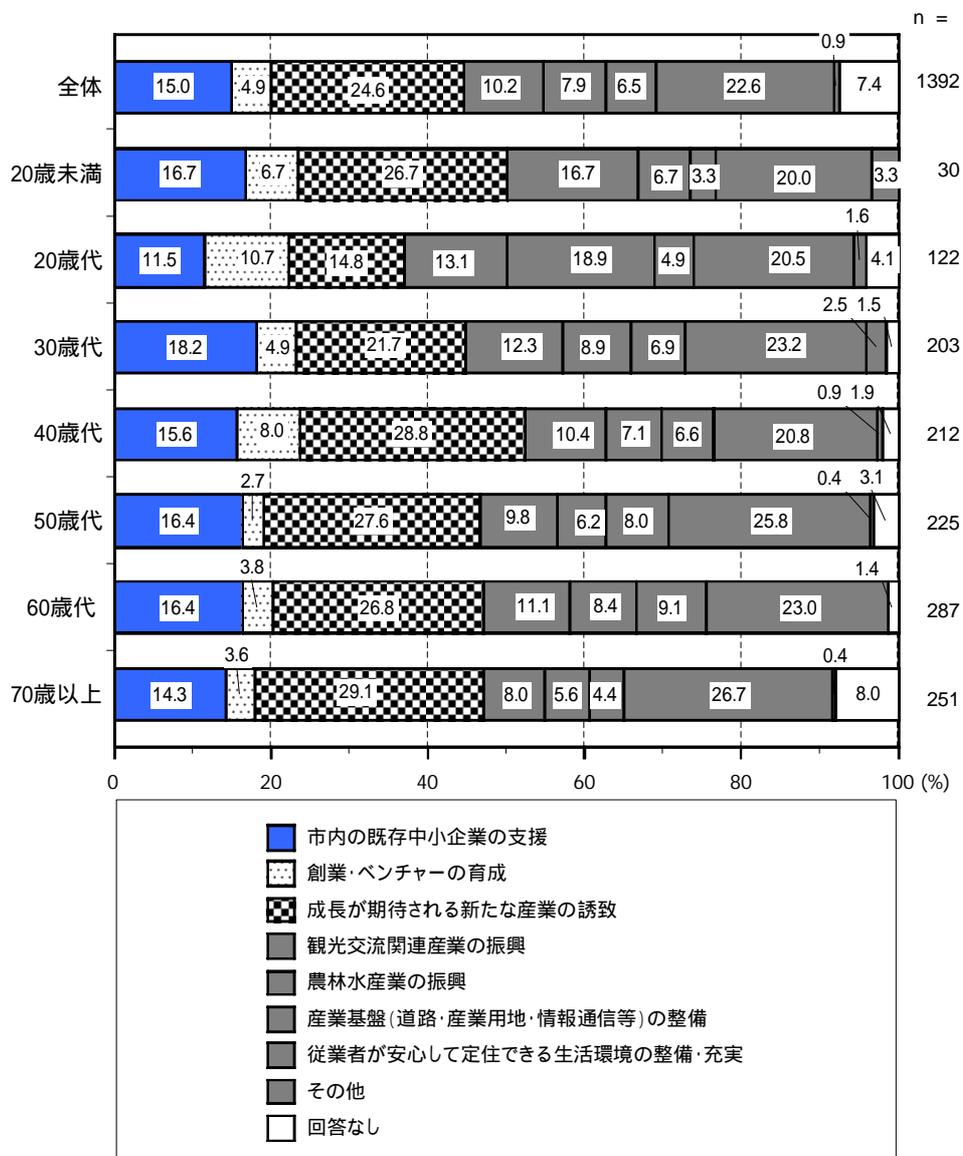
図表 7-3 地域自治活動への参加意向（年齢別）



(8) 産業振興策

- ・全体では、「成長が期待される新たな産業の誘致」が24.6%、「従業者が安心して定住できる生活環境の整備・充実」が22.6%、「市内の既存中小企業の支援」が15.0%で多くなっています。
- ・年齢別にみると、「40歳代」以上を中心として「成長が期待される新たな産業の誘致」の割合が高くなっています。また、「20歳代」の回答に特徴があり、「農林水産業の振興」が18.9%、「創業・ベンチャーの育成」が10.7%とほかの年齢層よりも高くなっています(図表8-1)。

図表8-1 今後の産業振興策(年齢別)

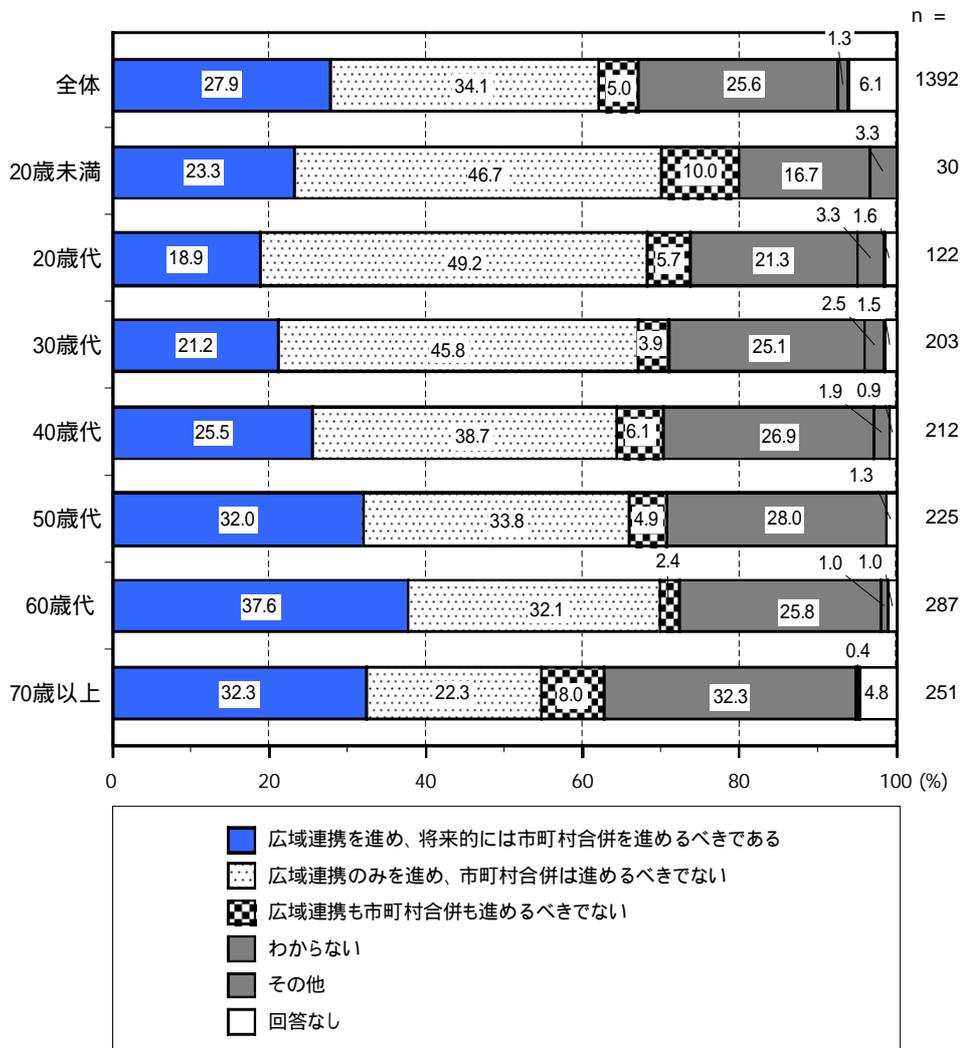


(9) 広域連携のあり方

広域連携のあり方

- ・全体では、「広域連携のみを進め、市町村合併は進めるべきでない」が34.1%と最も多く、「広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべきである」が27.9%と意見が分かれています。
- ・年齢別にみると「20歳未満」から「30歳代」の若い年齢層では、「広域連携のみを進め、市町村合併は進めるべきでない」が45%以上であり、「50歳代」以上では「広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべきである」が32%以上というように、年齢層により意見が分かれています（図表9-1）。

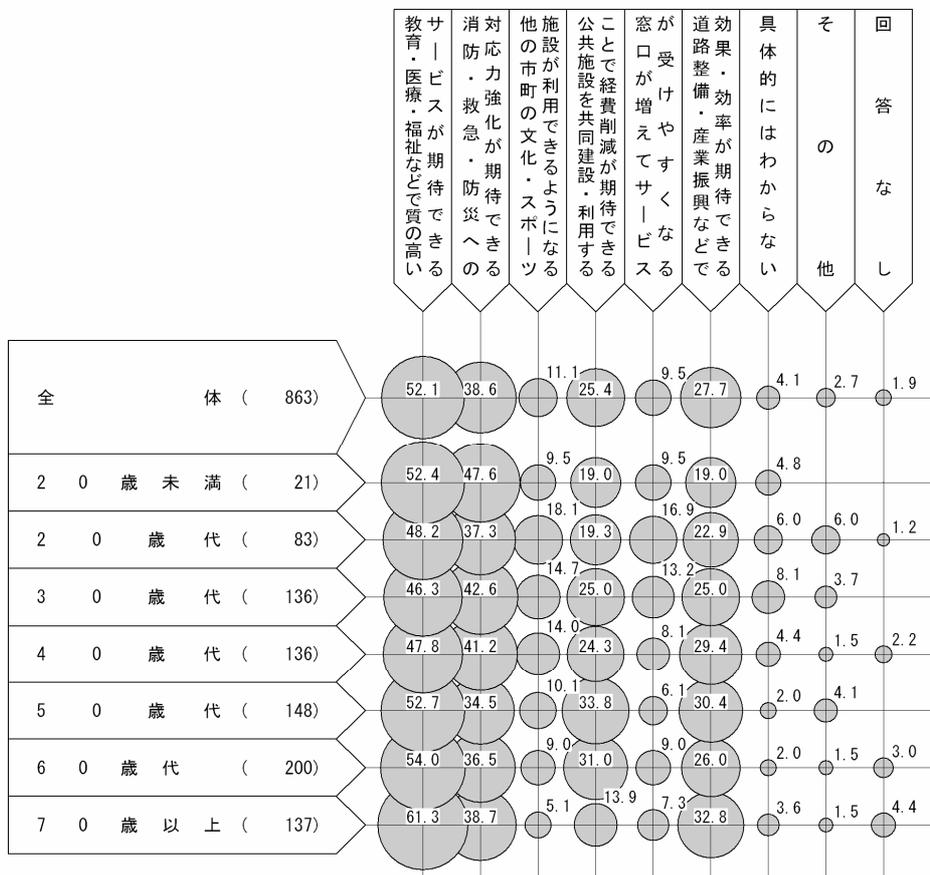
図表9-1 広域連携のあり方（年齢別）



市町村合併や広域連携を進める理由

- ・全体では、「教育、医療、福祉などで質の高いサービスが期待できる」が 52.1%と回答が集まっています。「消防、救急、防災への対応力強化が期待できる」が 38.6%、「道路整備、産業振興などで効果、効率が期待できる」と「公共施設を共同建設・利用することで経費削減が期待できる」が 25%を超えて多くなっています。。
- ・年齢別にみると、「20 歳未満」では「消防、救急、防災への対応力強化が期待できる」、「20 歳代」では「他の市町の文化・スポーツ施設が利用できるようになる」、「窓口が増え、サービスが受けやすくなる」、「50 歳代」と「60 歳代」で「公共施設を共同建設・利用することで経費削減が期待できる」、「70 歳以上」で「教育、医療、福祉などで質の高いサービスが期待できる」がほかの年齢層よりも高い割合となっています（図表 9-2）。

図表 9-2 市町村合併や広域連携を進める理由（年齢別）



参考資料

(1) 主な自由意見

蒲郡市の良い印象

- ・ 温暖な気候。
- ・ 年間を通じて気候が温暖（自然の条件が整っている）。
- ・ 冬でも暖かい。雪があまり降らない。
- ・ みかん等特産物がある。
- ・ みかんがおいしい。
- ・ 生まれ育ったまちなので愛着がある。
- ・ ずっと住んでいるので愛着がある。
- ・ 住みなれている。
- ・ 魚がおいしい。漁業がさかんで豊富。
- ・ 物価が安い。
- ・ 観光地である。三谷祭がある。
- ・ 三谷祭がある。
- ・ 温泉が近くにある。
- ・ 東京と比較してあいさつが出来る子供が多い。
- ・ 生活に便利。公共施設や買い物等が自転車の行動の範囲で利用可能。
- ・ 市域が狭いので、公共施設やスーパー等が近い。

蒲郡市の悪い印象

- ・ 子供服等赤ちゃんや子供用品がそろっている店があまりに少ない。
- ・ 飲食店・子供服屋が少ない。
- ・ 畑が活用されておらず、荒れているのが残念。
- ・ 他町村に比べて税金が高い。
- ・ 下水道が遅れている（竹谷地区）。
- ・ 他の地域に比べ、経済の低迷が長く、まちに活気がない。
- ・ 自分の望む労働条件が少ない
- ・ 海が汚く、臭い。
- ・ 公園が人通りの少ない場所ばかりにあり、子供だけで遊ばせるのは危険な印象。
- ・ 道路のごみが多い。
- ・ 映画やボーリング等遊べる場がない。
- ・ 暴走族が多いので子供がこわがっている。
- ・ 監督署・法務局・保健所等の公的機関がなく大変不便。

- ・セントレア行きのバスがなくなって不便。図書館を新しくしてほしい。
- ・若い人が少ない。
- ・文化施設（図書館・体育館等）が老朽化している。
- ・ギャンブル施設が多すぎる。
- ・電波状況が悪い。
- ・電信柱が多く見苦しい。
- ・病気などの検診の内容・年齢条件等が他の市町村に比べて不十分に見える部分が多い。
- ・公園や緑地に人があまりいない。今の公園に行きたいと思わないから、行きたいと思う公園・緑地にしてもらいたい。
- ・せっかく山林が残っているのに、それを削って道路をつくっている。
- ・地上デジタル（ワンセグ）の受信感度が悪い。
- ・他人の家のことをあれこれ言い過ぎる。勝手な噂話をする。
- ・市外の人が持つ蒲郡の印象は「海がある、海がきれい」。それなのに、その海を埋め立てるのはどうかと思う。これは私の個人的な意見だが、海だけでなく、その他の自然も壊さないでほしい。
- ・蒲郡競艇に活気がない。SG等がこないと閑散としている（人件費削減すべき）。
- ・大企業が少ない（埋立地の有効利用）。
- ・不便な割に土地が高い。
- ・地域の格差が目立ってきた。
- ・環境立市都市の割に汚れている。特に、道路に草が生えてみっともない。
- ・税金が他の都市より高いと思う
- ・車が通り抜けるだけのまち。道を歩いていて危険を感じる。
- ・街灯が少ない。
- ・貧富の差が激しい。
- ・賃金水準が他市と比べると低い。
- ・映画館やボーリング場等の娯楽施設が少ない。
- ・古い体質。
- ・人間的暖かさを感じられない。
- ・どういう市にしたいのかという行政側の構想が分からない。
- ・市全体に活気がない。農地の枠を取り払って住宅地にして、若い人に住んでもらった方が良い。
- ・商店街や農水産業に元気がない。
- ・川の中の汚れ、草が伸び放題。
- ・商業施設や遊ぶ施設が少ない。
- ・ボーリング場や映画館などの娯楽施設がない。スーパー銭湯がない。
- ・マナーの悪さ（ポイ捨て、交通ルール）。

- ・市役所の人の考えが古い。
- ・資源ごみを出す時間が当日朝になったこと。
- ・地域の海なのに、住民は自由に海で遊んだり、貝をとったり出来ない。
- ・水がおいしくない。
- ・近所づきあいなどが多すぎて大変。
- ・神社などの行事の際の騒音（爆発音）が一日中ある。
- ・駅前・北側の寂れた感は見えていてさびしい。
- ・高齢者が働ける場所がほしい。

蒲郡市の将来像

- ・女性の社会復帰のための仕事・資格の斡旋をしてほしい。
- ・安心して働けるように子供たちへの支援もしてほしい。
- ・東三河が合併し、もっと大きなまちとしたい。
- ・近隣都市との関係を持ち、助け合うまち。
- ・大企業誘致。
- ・自然の景観を保持するため、山の竹を一掃する。
- ・公共交通機関の充実したまち。
- ・夢と希望にあふれ、ふるさと蒲郡にほこりをもてる心豊かなまち。
- ・安心してらせる町、市民病院の先生の確保。
- ・幹線道路を早期整備し、渋滞のないまち。
- ・税金を安くする。
- ・医療機関が整備され、安心出来る町。

産業振興策

- ・海の活用。
- ・子育て中（小学生以上）の女性の働ける場所を市で見つけてほしい。
- ・港の活用。
- ・ファミリーレストランや映画館、ショッピングセンター等をつくれれば若者が必ず利用すると思う。
- ・若者がやる気の出る仕事。
- ・今後、発展でなく、維持で良しというぐらいの考え方になってくると思う。特区をつかって、競艇場近くをギャンブル場や歓楽街のようにして、人が集まるようにする。
- ・創業ベンチャーより既存中小企業内のベンチャー支援。
- ・新たな投資はよく考えて選んでほしい。まず温泉地のホテルをもっときれいにするべき。老朽化したものや廃墟ホテルがそのままでは魅力ある観光地とはいえない。
- ・不動産取引を多くする。

- ・大型ショッピングセンター誘致。

広域連携のあり方

- ・市（市民）が豊か（心と経済）になる合併ならば進めてほしい。
- ・広域連携は進め、市町村合併はどちらでも良い。
- ・まずは、蒲郡だけでもやっていける力をつけるべき！！
- ・合併しても税金が上がれば意味がない。
- ・臨機応変に対応すべき。
- ・まずは広域連携から始め、国の動向をみる。
- ・広域連携は必要。国の動向を踏まえ、将来的には広域的な合併が必要だと思う。東・西三河関係なし。
- ・蒲郡市主体で蒲郡の名が残る連携・合併なら賛同する。
- ・連携はしてほしいが、蒲郡市という名前がそのまま残るなら合併もあり。
- ・合併は目的でない。必要であれば可。
- ・誰も蒲郡市はいらないと思う。
- ・合併の流れやその恩恵を期待する前にまず蒲郡市の活性化が大事。その上での広域連携が理想。
- ・市民税等安くなる方法で進めてほしい。
- ・消防の広域化のような手抜きはだめ。市民病院間の医師派遣のように現時点での診療科の維持に必要な施策はやる。
- ・蒲郡市という名が残るなら、合併はいいと思う。
- ・正直、蒲郡市のままがいいが、予算がないのも事実。合併するのは難しいので、アピールしながら仲良く。
- ・豊川市を合併したところが電気代などが上がり、良いところがないようなので蒲郡の人が合併しても良かったと思えるところがあれば良いのではないかな。

市町村合併や広域連携を進める理由

- ・市単独での行政サービスは不可能と思われる。限界がある。
- ・手を結び、費用が安くなるなら良い。
- ・市民が閉鎖的だから。
- ・人口や企業が増加することで歳入が増え、地域発展につながる事が出来る。
- ・人的な経費も削減が期待できる。
- ・1つの市で80点を目指すより、現在の蒲郡地区で100点をとれそうなところに特化すべき。例えば、別荘地としてイメージアップを図り、住みたさを向上させる（例：湘南）。まずまずの風景、海陽学園といった要素は既にある。経済成長を担う製造というよりも住みやすさ住みたさに特化させてもらえそう。

- ・合併して大きくなってほしい。
- ・行政の効率化。
- ・合併をして、公共事業を一般競争にして談合（話し合い）をなくしてほしい。
- ・市の収入が安定し、経済的にも安心出来るまちになると思うから。
- ・市町村合併を進めて経費削減（人件費等）しなければやっていけないようになる。
- ・無駄がなくなる 市民税が軽くなる。
- ・競争することで役所のサービスも良くなる。役所の人を一新出来る。
- ・蒲郡は三河湾と切り離せない。この三河湾を守っていくには市単独では無理。
- ・市議員の減少を図り、減税を図れ。
- ・連携を進めても損はないのでは？と思うので。
- ・合理的な財政運営。
- ・市役所職員を大幅に減らす。
- ・市の財政悪化を和らげることが出来るかも。
- ・議員の人数を減らすべき。
- ・財政が危ないから。
- ・道州制の導入の前段階として事前に市町村合併し、混乱を避けるため。
- ・お互いが助け合える関係をつくっていききたい。

(2) アンケート調査票

第四次蒲郡市総合計画策定に関する

市民意識調査

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

蒲郡市では、平成 13 年度にスタートした「第 3 次蒲郡市総合計画」において「海とみどりに包まれた安心して暮らせるまち 蒲郡」をめざすべき都市像としてまちづくりを進めてきました。目標年次の 2010 年（平成 22 年）を迎えるにあたり、本市を取り巻く社会情勢も大きく変化していることから、現在、第四次蒲郡市総合計画の策定に向けて準備を進めています。

そこで、現在の蒲郡市のまちづくりに関わる施策の評価を行うとともに、今後のまちづくりを進めていく上での市民の皆さまのご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、市内にお住まいの 18 歳以上の方の中から、無作為に 3,000 人の方を選ばせていただき、お願いするものです。ご回答の内容は、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 21 年 1 1 月

蒲郡市長 金原 久雄

ご回答にあたってのお願い

- 封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
- 尚、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様と相談のうえご家族の方がご記入ください。
- 回答にあたっては、**特に記載のない場合は、該当する項目を 1 つ選んで、番号に○印**をつけてください。ただし、「その他」を選択された場合は、() 内に具体的にその内容をご記入ください。
- 回答されたアンケート用紙は、**11月25日(水)**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。
- このアンケートについてのご質問などがありましたら下記までお問い合わせください。

蒲郡市企画部企画広報課 担当：川畑
TEL:0533-66-1162 / FAX:0533-66-1190

あなた自身のことについておたずねします。

問1 性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 年齢（平成21年10月1日現在の満年齢）

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 20歳未満 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | |

問3 職業

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 会社員・団体職員（常勤） | 5. 農林水産業 |
| 2. 公務員・教職員（常勤） | 6. 学生 |
| 3. パートタイマー・アルバイト・内職 | 7. 専業主婦・主夫 |
| 4. 自営業 | 8. 無職 |

問4 （問3で「1」～「6」に○をつけられた方におたずねします）

通勤（就業）・通学先

- | | |
|---------|---------------------|
| 1. 蒲郡市内 | 6. 豊川市 |
| 2. 豊橋市 | 7. 西尾市 |
| 3. 岡崎市 | 8. 愛知県内（1～8以外の愛知県内） |
| 4. 幸田町 | 9. 愛知県外 |
| 5. 名古屋市 | |

問5 通勤・通学の際の主な交通手段

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 電車 | 5. 徒歩 |
| 2. バス | 6. その他 |
| 3. 自動車、二輪車（バイク・スクーター） | （_____） |
| 4. 自転車 | |

問6 お住まいの地域（中学校区）（※地域がわからない方は、住所（町名）をご記入ください。）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 大塚中学校区 | 6. 形原中学校区 |
| 2. 三谷中学校区 | 7. 西浦中学校区 |
| 3. 蒲郡中学校区 | 8. わからない |
| 4. 中部中学校区 | （町名：_____） |
| 5. 塩津中学校区 | |

問7 蒲郡市に住むことになったきっかけ

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 蒲郡で生まれたから | 4. 親族がいるから |
| 2. 就学、就業 | 5. 魅力を感じたから |
| 3. 結婚 | 6. その他（_____） |

問8 蒲郡市における居住歴

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 5. 20年以上30年未満 |
| 2. 5年未満 | 6. 30年以上 |
| 3. 5年以上10年未満 | |
| 4. 10年以上20年未満 | |

蒲郡市のまちについておたずねします。

問9 あなたは、蒲郡市は住みやすいまちだと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを**1つ選び**、番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 住みやすい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかといえば住みにくい | |

問10 あなたは、これからも蒲郡市に住み続けたいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを**1つ選び**、番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 3. いずれは市外へ引っ越したい |
| 2. 当分の間は住み続けたい | 4. すぐにでも市外へ引っ越したい |

問11 (問10で「3」、「4」に○をつけられた方におたずねします)

どちらへ引っ越したいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを**1つ選び**、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 豊橋市 | 4. 幸田町 | 7. その他 |
| 2. 豊川市 | 5. 名古屋市 | () |
| 3. 岡崎市 | 6. わからない | |

問12 あなたは、蒲郡市に対しどのような**良い印象**をお持ちですか。あなたのお考えに近いものを**3つまで選び**、番号に○印をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 交通が便利である |
| 2. 住宅地の環境が良い |
| 3. 商業施設が立地して、生活に便利である |
| 4. 働く場が多い |
| 5. 文化やスポーツなどの公共施設が充実している |
| 6. 福祉・医療施設や福祉サービスが充実している |
| 7. 子育てしやすい環境が整っている |
| 8. 学校教育などの教育環境が整っている |
| 9. 海や山林などの自然が残っており、環境がよい |
| 10. 災害などの心配が少ない |
| 11. 交通事故や犯罪などの危険が少ない |
| 12. 道路の整備が進んでいる |
| 13. 公園や緑地が多い |
| 14. 上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている |
| 15. 近所づきあいなどが多く、人情味が感じられる |
| 16. その他 () |
| 17. 特に良い印象はない |

問13 あなたは、蒲郡市に対し、どのような**悪い印象**をお持ちですか。
あなたのお考えに近いものを**3つまで選び**、番号に○印をつけてください。

1. 鉄道やバスなどの交通の便が悪い
2. 住宅と工場が混在している
3. 買い物に不便である
4. まちに働く場所が少ない
5. 文化施設やスポーツ施設などが少ない
6. 医療・福祉施設が不十分である
7. 子育て環境が整っていない
8. 教育環境が整っていない
9. 農地や山林が多く田舎の雰囲気である
10. 災害の危険がある
11. 交通事故や犯罪などが多い
12. 道路の整備が遅れている
13. 公園や緑地が少ない
14. 騒音、悪臭などの問題がある
15. 近所づきあいなどが少なく人情味に欠ける
16. その他 (_____)
17. 特に悪い印象はない



日常生活や地域活動等の実態についておたずねします。

問 14 あなたの日常生活や地域活動等への参加状況についてお答えください。
 (1)～(15)それぞれの項目について、あなたのお考えや行動に最も近いものを**1つずつ選び**、番号に○印をつけてください。

	積極的 に 取 り 組 ん で い る	取 り 組 ん で い る	あ ま り 取 り 組 ん で い な い	全 く 取 り 組 ん で い な い
記入例) ○○○○○○について	4	③	2	1
(1) 日ごろから健康増進に取り組んでいる	4	3	2	1
(2) 身近な高齢者や障がい者を支援している	4	3	2	1
(3) 子育て世帯を支援している	4	3	2	1
(4) 再生品やエコマーク商品を購入している	4	3	2	1
(5) ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる	4	3	2	1
(6) ゴミ拾い等の身近な環境美化に取り組んでいる	4	3	2	1
(7) 学校や地域で子ども達の活動を見守っている	4	3	2	1
(8) 生涯学習活動や文化活動に取り組んでいる	4	3	2	1
(9) 災害に対する家庭内の備えができています	4	3	2	1
(10) 地域の防災・防犯活動に参加している	4	3	2	1
(11) 町内会や総代区等の地域の自治活動に参加している	4	3	2	1
(12) ボランティア活動に参加している(お住まいの地域以外)	4	3	2	1
(13) 外国人との交流に参加したことがある	4	3	2	1
(14) 男女が平等に生活や仕事に取り組んでいる	4	3	2	1
(15) 地元の商店でできるだけ買い物をしている	4	3	2	1

蒲郡市の暮らしの満足度と今後のまちづくり重要度についておたずねします。

問 15 あなたは、これまでの蒲郡市における(1)～(39)の現状について、どの程度満足していますか。また、今後の蒲郡市のまちづくりにおいて、どれくらい重要であると思いますか。各項目の「満足度」と「重要度」それぞれの欄に、あなたのお考えに最も近いものを**1つずつ選び**、番号に○印をつけてください。

	現状の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
記入例) ○○○○○○について ⇒	5	④	3	2	1	5	4	3	②	1
1. 自然・環境 について										
(1)海や山などの自然環境の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2)海とふれあうまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3)ごみの減量化、リサイクル活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4)騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5)省エネ対策や自然エネルギー活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 基盤整備・交通 について										
(6)駅前などの市街地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7)景観・まちなみへの配慮	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8)幹線道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(9)生活道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10)公園・緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11)公共交通の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12)住宅・宅地の環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13)下水処理対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 安全・安心 について										
(14)健康づくり・疾病対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15)地域医療体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16)地域での支え合い・福祉活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	現状の満足度					今後の重要度				
	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら も 言 え な い	や や 不 満	不 満	重 要	や や 重 要	ど ち ら も 言 え な い	重 要 で な い あ ま り	重 要 で な い
(17)子育てに対する支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(18)高齢者への福祉施策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(19)障がい者への福祉施策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20)低所得者の自立支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21)災害に強いまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(22)消防・救急体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(23)交通安全・防犯対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 教育・文化について										
(24)小中学校の教育内容や環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(25)生涯学習活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26)図書館、ホールなどの施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(27)文化活動や文化の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(28)スポーツ施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(29)国際化、外国人との交流・共生	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 産業について										
(30)農業や水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(31)工業の振興や企業誘致	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(32)商業やサービス業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(33)観光の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(34)競艇の円滑な運営や活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. その他										
(35)男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(36)コミュニティ活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(37)ボランティア育成や市民活動支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(38)市政の情報提供や市民の声の広聴	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(39)周辺市町村との連携について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

これからのまちづくりについておたずねします。

問 16 あなたは、蒲郡市の魅力を高めるために、どのような将来像を目指すべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを**2つまで選び**、番号に○印をつけてください。

1. 住環境が整い暮らしやすい快適なまち
2. 観光、レジャー施設の整備・充実したまち
3. 緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち
4. 史跡や文化財、伝統などを大切にするまち
5. 事故や災害、犯罪のない安全なまち
6. まちなみの美しい景観にすぐれたまち
7. 産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち
8. 障がい者や子ども、高齢者などを大切にするまち
9. スポーツに親しみ、健康づくりに取り組むまち
10. 芸術や教育が充実した文化かおるまち
11. 地域や市民の自主的な活動が盛んなまち
12. その他 ()

問 17 あなたは、「協働」という言葉をご存知ですか。あなたのお考えに最も近いものを**1つ選び**、番号に○印をつけてください。

1. 知っており、興味がある
2. 知っているが、あまり興味がない
3. 聞いたことはあるが、意味はよくわからない
4. 知らない

※「協働」とは：住民や行政などの複数の主体が目標を共有し、それぞれに果たすべき責任と役割をもって、ともに力を合わせて活動すること

問 18 あなたは、地域をより良くするために、住民と行政がどのように役割を果たしたらよいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを**1つ選び**、番号に○印をつけてください。

1. 住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する
2. 行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する
3. 住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む
4. わからない
5. その他 ()

問 19 あなたは、地域をより良くするために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。あなたのお考えに近いものを**2つまで選び**、番号に○印をつけてください。

1. 自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動
2. 福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動
3. 教育・文化に関わる活動
4. 環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動
5. 防災・防犯・交通安全に関わる活動
6. 地域のまちづくりに関わる活動全般
7. その他 ()
8. 特に参加したいとは思わない

問 20 今後の蒲郡市の地域経済の発展に向けて、どのような産業振興策が必要であるとお考えですか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 市内の既存中小企業の支援
2. 創業・ベンチャーの育成
3. 成長が期待される新たな産業の誘致
4. 観光交流関連産業の振興
5. 農林水産業の振興
6. 産業基盤（道路・産業用地・情報通信等）の整備
7. 従業者が安心して定住できる生活環境の整備・充実
8. その他（ _____ ）

問 21 蒲郡市の将来を考えた場合、周辺市町村との市町村合併や広域連携を進めるべきであるとお考えですか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべきである
2. 広域連携のみを進め、市町村合併は進めるべきでない
3. 広域連携も市町村合併も進めるべきでない
4. わからない
5. その他（ _____ ）

問 22 **（問 21 で「1」、「2」に○をつけられた方におたずねします）**

市町村合併や広域連携を進める理由について、どのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを2つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 教育、医療、福祉などで質の高いサービスが期待できる
2. 消防、救急、防災への対応力強化が期待できる
3. 他の市町の文化・スポーツ施設が利用できるようになる
4. 公共施設を共同建設・利用することで経費削減が期待できる
5. 窓口が増え、サービスが受けやすくなる
6. 道路整備、産業振興などで効果、効率が期待できる
7. 具体的にはわからない
8. その他（ _____ ）

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
回答されたアンケート用紙は、11月25日(水)までに同封の返信用封筒
（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。